

世界が 懸念 していること

2025年8月

世界が懸念していること

イプソスの「世界が懸念していること」調査では、世界30か国で現在最も重要な社会問題や政治問題は何であると考えているのかを調査し、最新のスコアとその背景を10年分のデータをもとに探ります。

このグローバルサマリーレポートでは、世界中で最も懸念されていることを、自国が正しい方向/間違った方向のどちらに進んでいるかという人々の意見と共にご紹介しています。

調査結果のさらなる分析は、
www.ipsos.com
でもご覧いただけます。

詳細については、
Joseph.Nadler@ipsos.com
までお問い合わせください。

=Report_1175

まとめ

01. 犯罪と暴力が最大の問題

今年8月、30か国において、犯罪と暴力を最大の懸念事項として挙げる人の割合は依然として3分の1(32%)です。一方、インフレへの懸念はわずかに減少し、10人中3人(30%)となりました。

イプソスの調査対象となったラテンアメリカ諸国6か国のうち5か国は、犯罪を最大の懸念事項として挙げており、スウェーデン(64%)、フランス(38%)も同様です。

今月、犯罪について言及するオーストラリア国民の割合が増加しました。36%が懸念を表明しており、これは2018年2月以来オーストラリア国民としては最高水準です。

02. タイでは軍事的な対立への懸念が高まっている

7月24日、[タイとカンボジアの国境沿いの緊張が軍事行動にまでエスカレート](#)しました。

この短期間の暴力行為の爆発により、軍事的な対立への懸念を表明する人の割合が記録的に増加し、先月より13ポイント増加しました。

これに加えて、過去1年間で、国が正しい方向に向かっていると考える人の割合が減少したほか、経済が好調であると考えた人の割合も減少しました。

今月は[タイにスポットライト](#)を当て、同国のデータを詳しく分析します。

03. フランスは経済について最も悲観的

フランスでは経済が良いと考える人はわずか9%で、調査対象となった30か国中最低です。フランスの好景気スコアは過去12か月間で18ポイント低下しました。

フランスの現在の経済に対する肯定的な認識は、2015年1月以来最低(7%)となっています。

これに伴い、国が正しい方向に向かっていると考える人の割合も減少しています。フランスが正しい方向に進んでいると考える人はわずか11%で、先月から3ポイント、12か月前より13ポイント低下しました。

今月はフランスでも税金に対する懸念が6ポイント上昇し、26%となっています。

世界が懸念していること 2025年8月

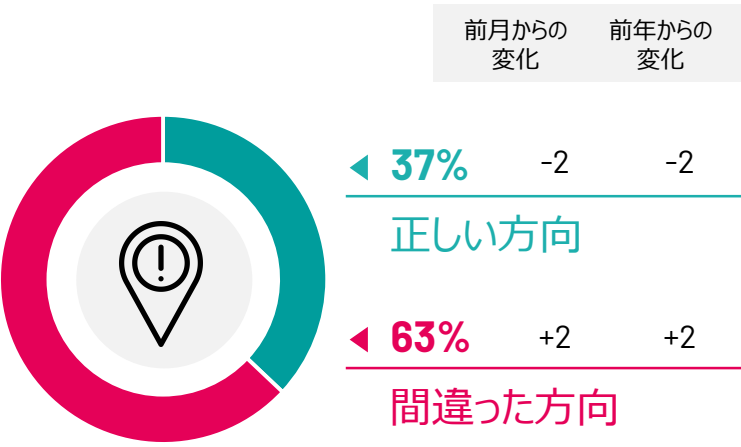
最も懸念していることトップ5

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。

		前月からの 変化	前年からの 変化
犯罪と暴力	32%	=	+3
インフレ	30%	-1	-2
貧困と社会的不平等	29%	=	-2
失業率と雇用	28%	=	+1
汚職、経済的・政治的スキャンダル	26%	=	+3

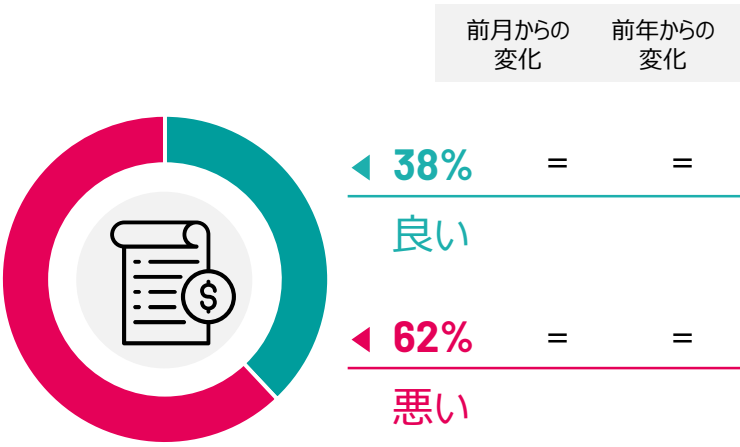
国の状況

Q: 全般的に見て、この国は正しい方向へ向かっていると思いますか、それとも間違った方向に向かっていると思いますか。



経済の状況

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



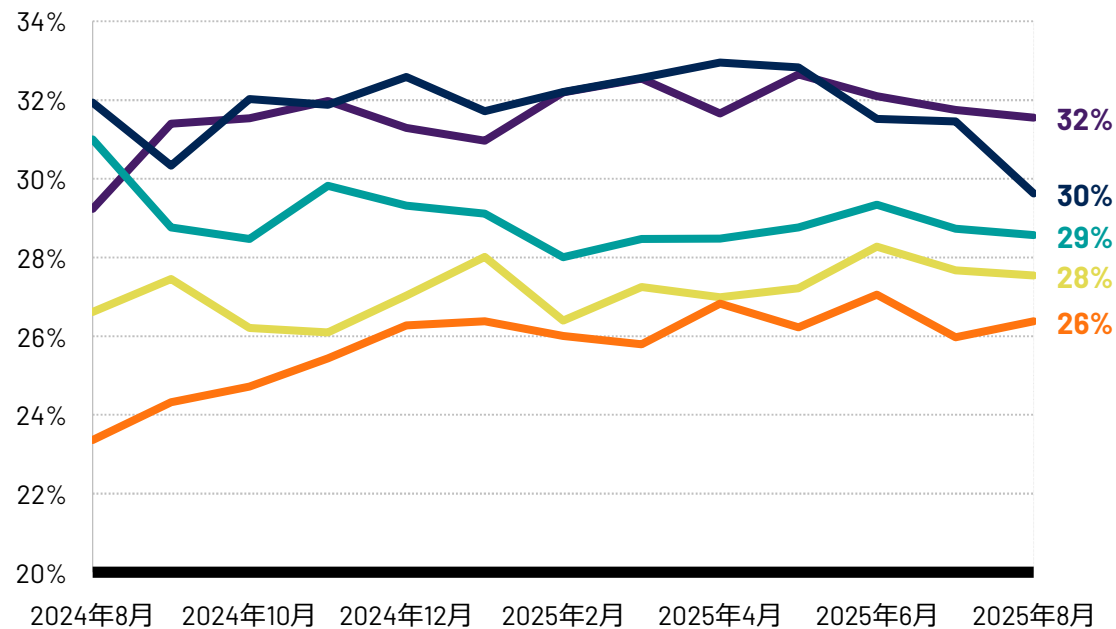
対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年8月



世界が懸念していること 12か月間のトレンド

最も懸念していることトップ5

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。



犯罪

インフレ

不平等

失業

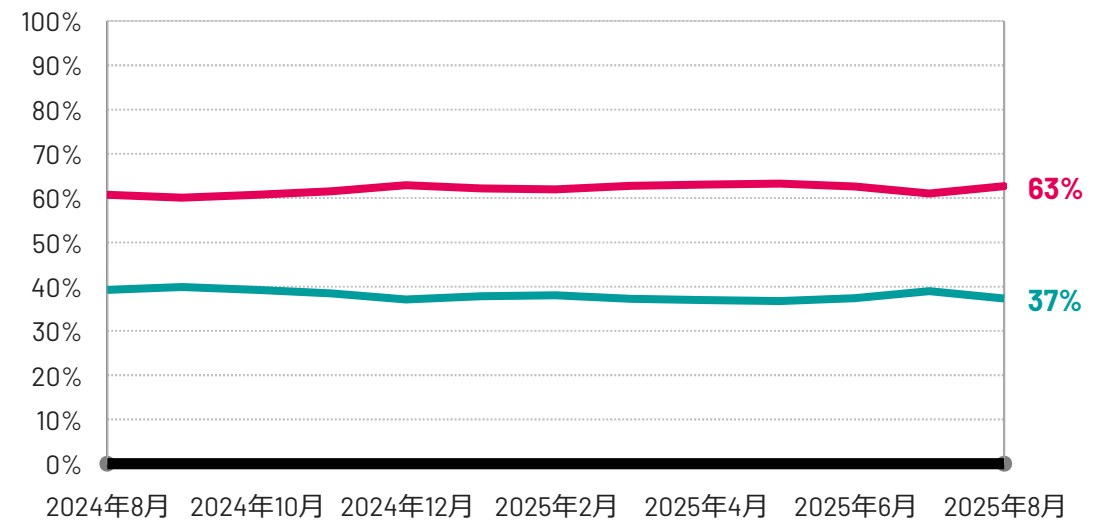
汚職

対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年8月

国の状況

Q: 全般的に見て、この国は正しい方向へ向かっていると思いますか、それとも間違った方向に向かっていると思いますか。

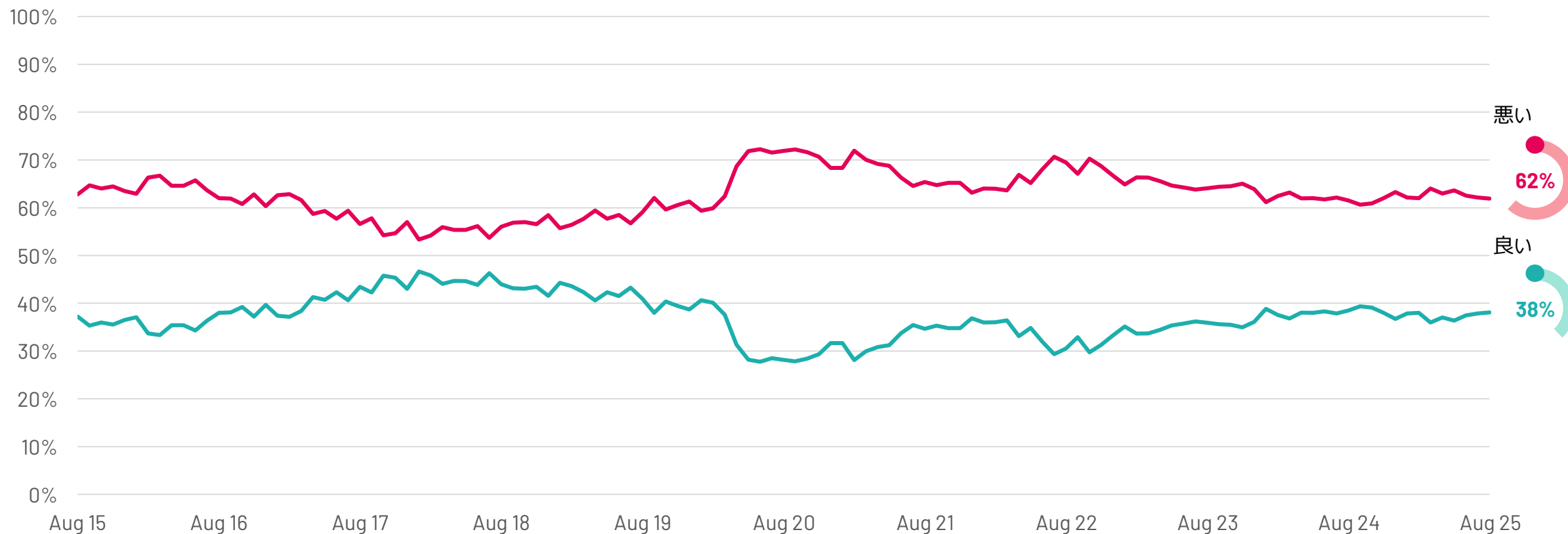


正しい方向

間違った方向

現在の経済状況

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。
(「とても良い」または「やや良い」と「とても悪い」または「やや悪い」の割合)



対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年8月

各国が進む方向

全対象国

正しい方向/ 間違った方向 モニター

対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

30か国中、37%が自国は正しい方向に向かっていると回答しています。

インドネシアでは、国家が正しい方向に進んでいると答えた人の割合が前月比19ポイント減の53%となり、楽観度が最も低下しました。今年1月以来、インドネシアの正しい方向スコアは25ポイント下がっています。インドネシアの今月のスコアは、2022年8月に同国が調査対象に加わって以来、最低となっています。

7月24日、タイとカンボジアの国境での緊張が高まり、激しい衝突が起きました。それ以来、マレーシアでの和平交渉は停戦と圧力の緩和につながりました。

タイの正しい方向スコアは先月から4ポイント上昇し、45%となっています。

同様に、楽観的な見方を示すマレーシア国民の割合は10ポイント上昇して72%となり、これは2023年1月(74%)以来の最高値となっています。

-25pp

自国が正しい方向に向かっていると答えたインドネシア国民の割合は、1月以降25ポイント減少しました。

正しい方向/ 間違った方向 モニター

対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年8月

国

世界

シンガポール

マレーシア

インド

韓国

インドネシア

オーストラリア

アルゼンチン

タイ

カナダ

メキシコ

米国

ブラジル

アイルランド

ポーランド

英国

コロンビア

スペイン

チリ

スウェーデン

ベルギー

イタリア

ドイツ

イスラエル

トルコ

日本

南アフリカ

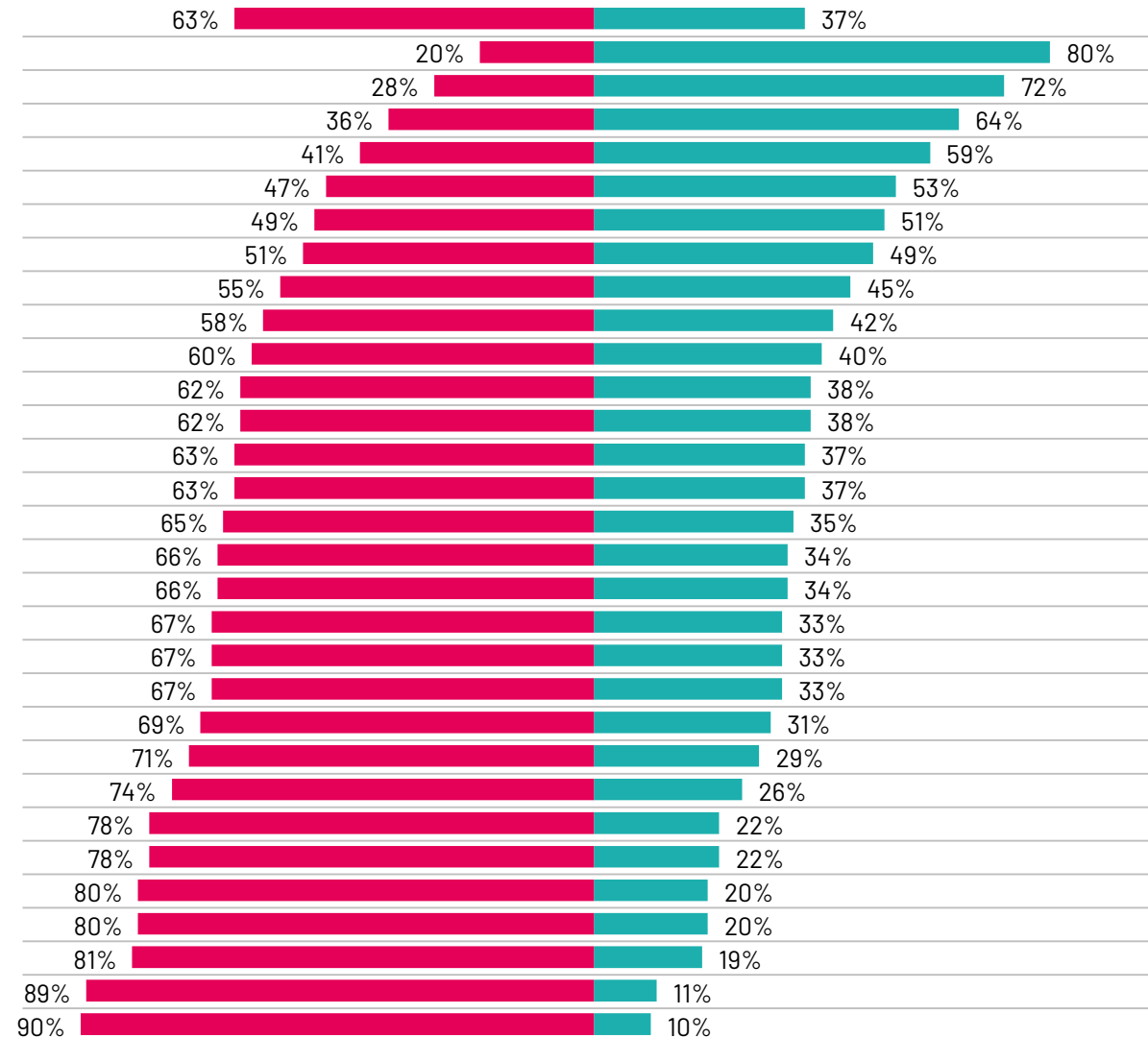
ハンガリー

オランダ

フランス

ペルー

Q: この国は正しい方向に向かっていると思いますか、それとも間違った方向に進んでいると思いますか? (2025年8月)



正しい方向

間違った方向

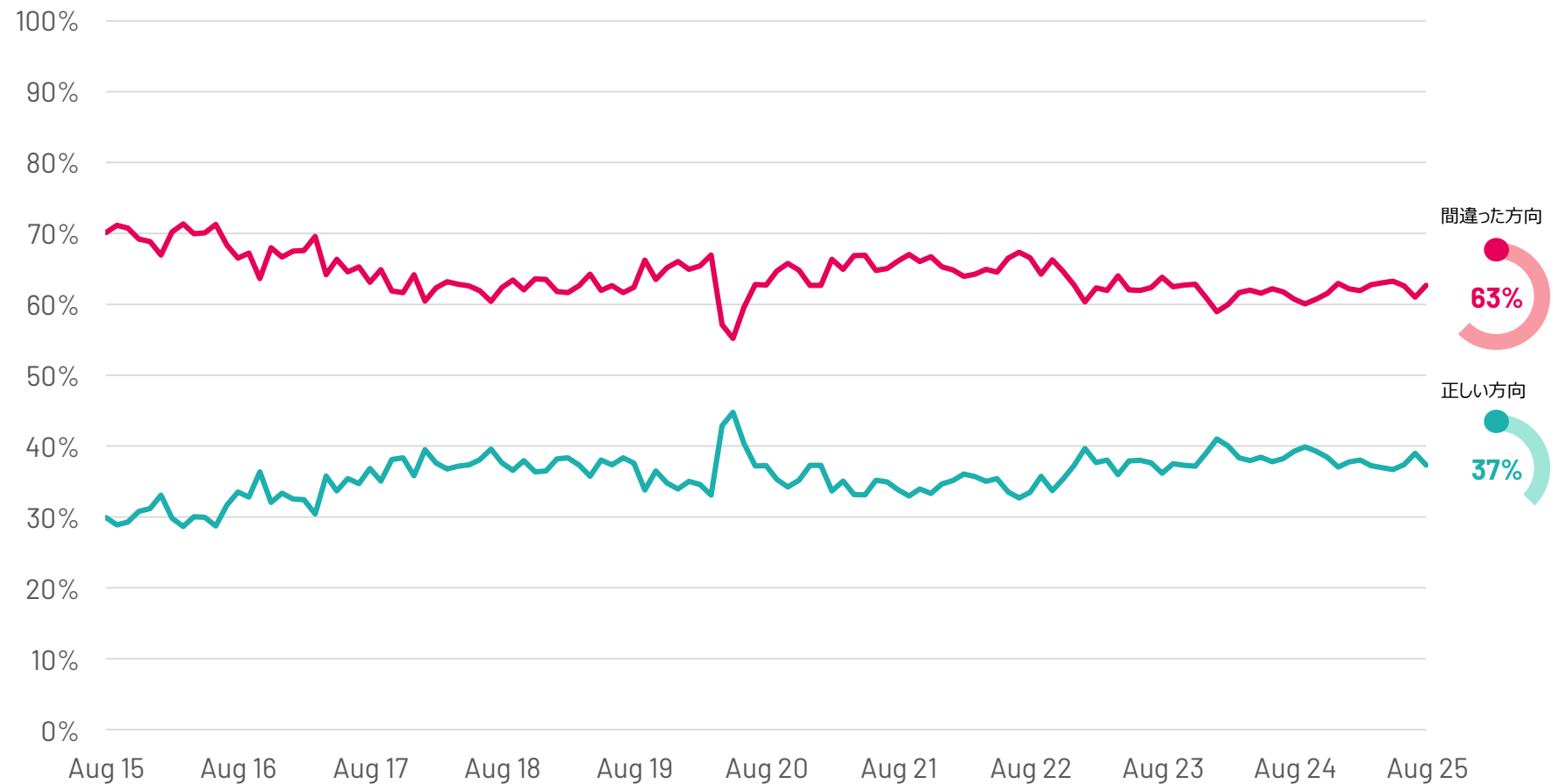
世界の正しい/ 間違った方向

世界各国の平均スコア

対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: この国は正しい方向に向かっていていると思いますか、それとも間違った方向に進んでいると思いますか?



国別スポットライト: タイ

タイサマリー: 2025年8月

最も懸念していることトップ5

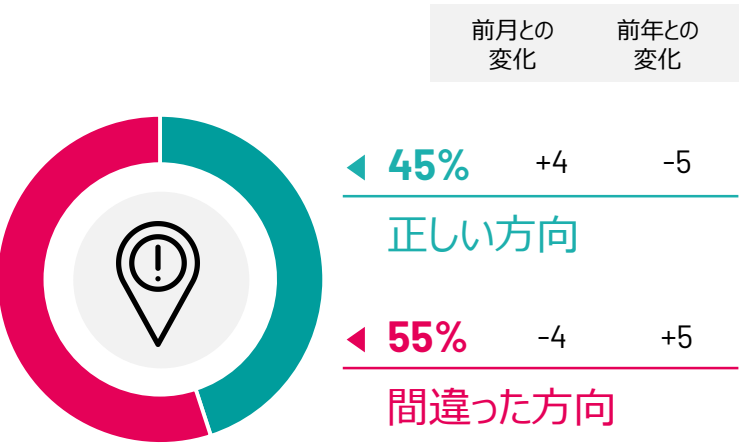
Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。

		前月との 変化	前年との 変化
国家間の軍事的な対立	50%	+13	+43
汚職、経済的・政治的スキャンダル	44%	-2	+4
貧困と社会的不平等	29%	-11	-18
インフレ	20%	-5	-9
失業率と雇用	19%	-6	-11

対象: 16〜74歳のタイ国民の代表サンプル約500名。
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。フィルター: 国: タイ | 現在のウェーブ: 2025年8月

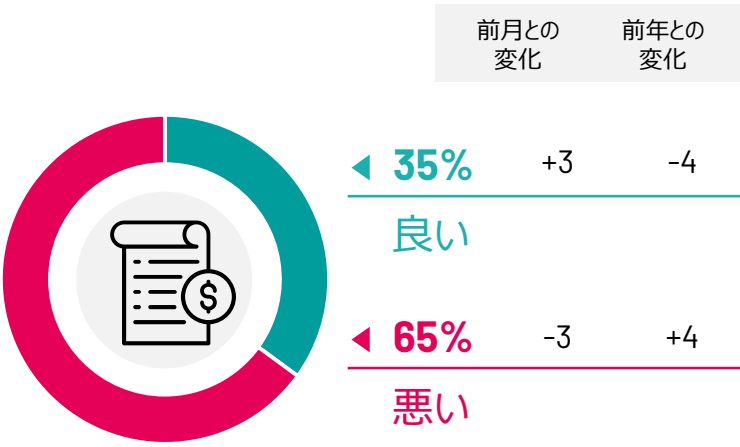
国の状況

Q: 全般的に見て、この国は正しい方向へ向かっていると思いますか、それとも間違った方向に向かっていると思いますか。



経済の状況

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



スポットライト: タイ*

7月24日、タイとカンボジアの国境沿いの緊張が軍事行動にまで高まりました。その後、マレーシアの仲介により停戦協定が発効しました。

この短い紛争は、国家間の軍事的な対立に対するタイの懸念を反映しており、不安を表明したタイ国民の割合は13ポイント上昇し、国内で過去最高の50%に達しました。

イプソスタイのカントリーマネージャー、Usana Chantarklumはこう強調します。

「初めて軍事的な対立が汚職を上回り、タイ国民の最大の懸念事項

となり、外部からの脅威に対する国民感情がいに急速に変化するかを浮き彫りにしました。この急激な増加は、タイとカンボジアの国境をめぐる緊張に対する国民の注目の高まりを反映しています。

(次スライドへ)

50%

のタイ国民が、国家間の軍事的な対立は国の問題だと考えています。

*タイは2022年8月に調査に追加されました。

スポットライト: タイ

タイ国民は新たな事態の展開に応じて懸念事項の優先順位を迅速に変更する能力を備えていることは明らかであり、政府、企業、社会のリーダーがこうした変化を注視し、それに応じて計画やコミュニケーション戦略を適応させることの重要性を浮き彫りにしています。」

タイにおける長期的な楽観論は後退しつつあります。タイは今月スコアが上昇したにもかかわらず、同国が正しい方向に進んでいると考える人々の間では、東南アジアの近隣諸国に遅れをとっています。タイでは国が正しい方向に向かっていると考える人はわずか45%であるのに対し、

インドネシアでは53%、シンガポールでは80%、マレーシアでは72%となっています。

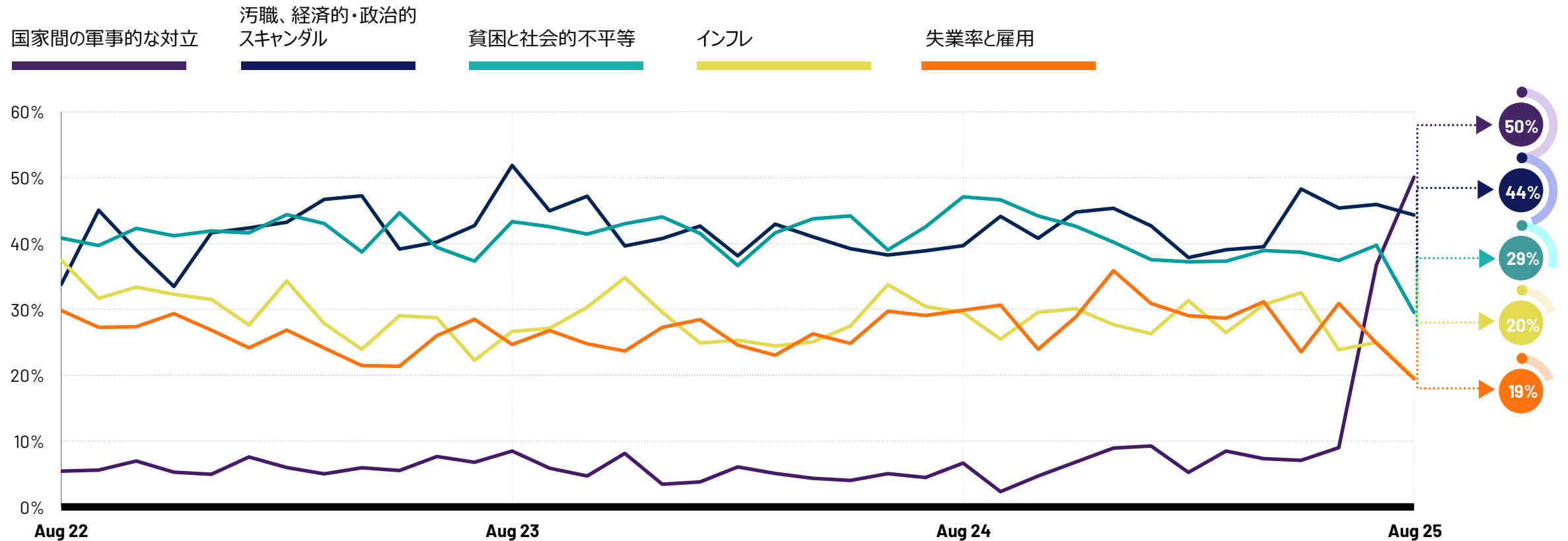
経済に関しても同様です。タイ経済を良好と評価する人の割合は4月以降10ポイント減少しました。現在、経済が良いと考えている人はわずか35%です。

-17pp

タイでは、国が正しい方向に向かっていると考える人の割合が2月以降17ポイント減少しました。

タイの現在の5つの懸念事項：長期的トレンド

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。



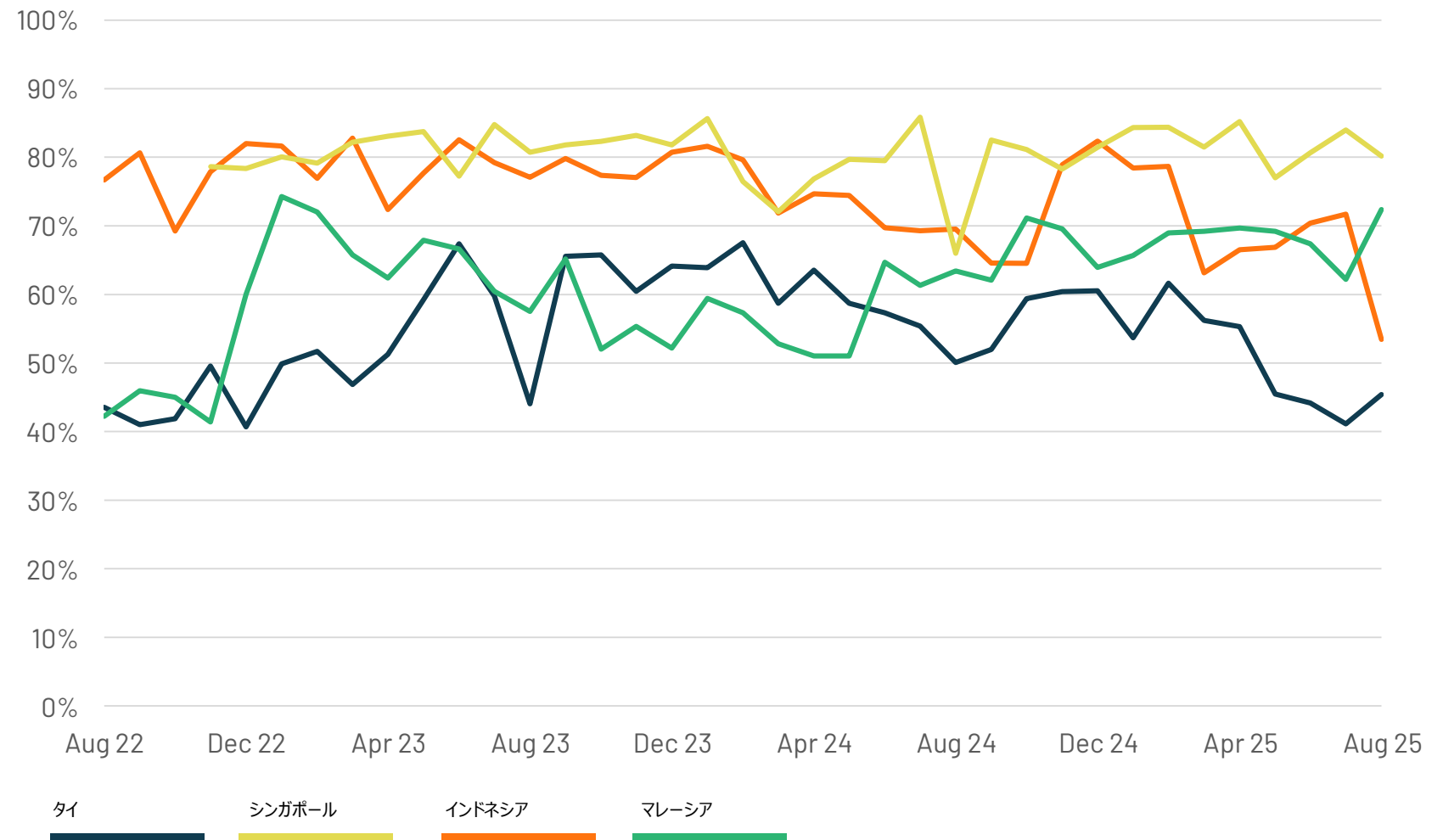
対象: 16〜74歳のタイ国民の代表サンプル約500名。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。フィルター: 国: タイ | 現在のウェーブ: 2025年8月

タイの人々は、この地域の他の国々と比べて、自国の将来についてあまり楽観的ではありません。

対象: 16~74歳のタイ国民の代表サンプル約500名。
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q:この国は正しい方向へ向かっていると思いますか、それとも間違った方向に向かっていると思いますか。
(正しい方向 %)

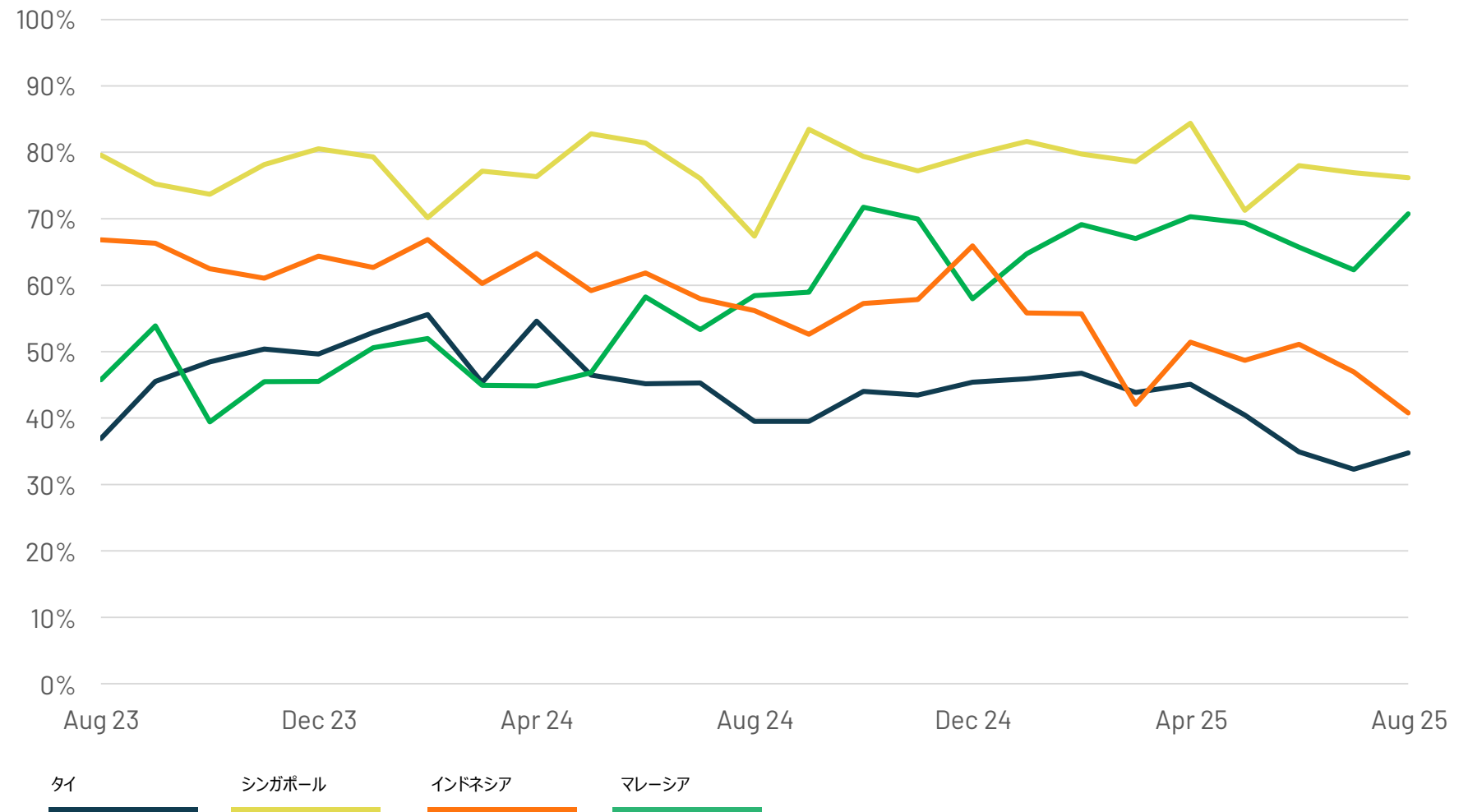


経済に関しても 同様です。

対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。
('とても良い'または'やや良い'%)



懸念スポットライト： 教育



スポットライト: 教育

30か国全体で、13%の人が教育は自国に影響を与える最大の問題の一つだと考えています。

2025年8月現在、アルゼンチンは教育に関して最も懸念を抱いている国です。アルゼンチン国民の30%がこれを問題視しており、インド(23%)やイスラエル(22%)を上回っています。

2020年2月、当社の調査対象国全体で教育に対する懸念は21%でした。パンデミックが発生したとき、不安を表明する割合は14%に大幅に減少しました。

それ以来、教育はこのレベルに留まっており、ほとんど変化していません。

しかし、これは新型コロナウイルス感染症の影響が今日でも感じられないということではありません。2024年の[ランセット精神医学委員会による若者のメンタルヘルスに関する報告](#)では、「2010年代初頭以降、若者のメンタルヘルスが悪化し、不安、うつ病、精神的苦痛、自傷行為、自殺が増加していることを示す十分な証拠が現在ある。」と報告されています。

(次スライドへ)

30%

のアルゼンチン国民が教育について懸念していると述べています。

スポットライト： 教育

「新型コロナウイルス感染症のパンデミック以降、若者は他の世代と比べて特に深刻なメンタルヘルスの悪化を経験しています。」

これは最新の[イプソス教育モニター](#)に明確に反映されており、30か国平均で53%が自国の子供たちの精神衛生状態が悪いと考えていることがわかりました。

平均的には、受けられる教育の質については人々の意見が分かれています。30か国全体で、34%が自国の学校を良いと評価し、35%が悪いと評価しています。

自国の教育が良いと考える割合が

最も高かったのはシンガポールとアイルランド(それぞれ77%と71%)でした。

これらの国々は、イプソスの「世界が懸念していること」調査において、教育に対する関心が最も低い国々です。

[さらに詳しい情報については、最新のイプソス教育モニター2025をご覧ください。](#)

34%

(30か国)が、自国の教育制度を良いと評価する一方で、悪いと評価する人は35%に上ります。

約10人に1人が、
教育は自国における最重要課題だと
答えています。懸念が最も高いのは
アルゼンチンです。

対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。
フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年8月

国	教育を懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界	13%	-1	-1
アルゼンチン	30%	-1	=
インド	23%	-4	+5
イスラエル	22%	=	+4
ペルー	21%	+1	-5
ハンガリー	21%	-3	-6
メキシコ	20%	+1	+5
トルコ	20%	-1	-2
ブラジル	19%	-3	-8
チリ	16%	=	+2
コロンビア	15%	-2	=
スペイン	14%	+1	=
ベルギー	13%	-2	-4
マレーシア	13%	+2	-1
インドネシア	13%	=	-3
南アフリカ	13%	-1	+2
フランス	12%	-3	+1
オランダ	12%	-2	+2
カナダ	12%	+3	+2
オーストラリア	10%	+1	+1
米国	10%	+2	+2
ドイツ	9%	-1	-1
ポーランド	9%	=	+2
スウェーデン	9%	+3	=
タイ	8%	+2	-1
イタリア	8%	+2	-1
英国	7%	+2	=
日本	7%	+2	+1
シンガポール	7%	-3	-9
韓国	6%	+1	+1
アイルランド	5%	=	-3



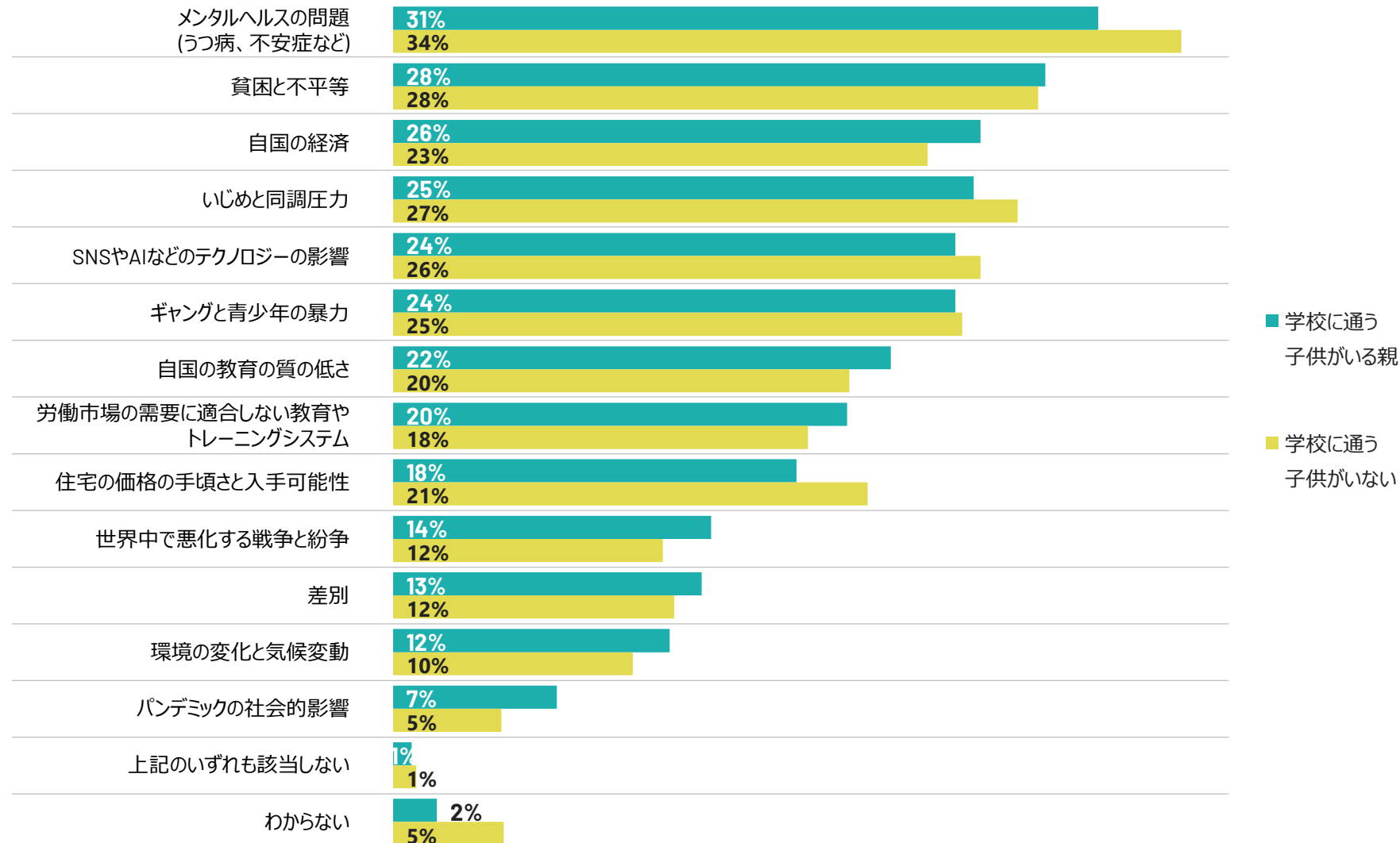
メンタルヘルスは若者が直面する最大の課題だと考えられています。

あなたのご意見では、現在、自国の若者が直面している最大の課題は何だと思いますか？
(回答を3つまで選択してください)

30か国平均

出典: イプソス教育モニター2025

対象: 30か国の75歳未満のオンライン成人23,700人。
2025年6月20日から7月4日に調査を実施。

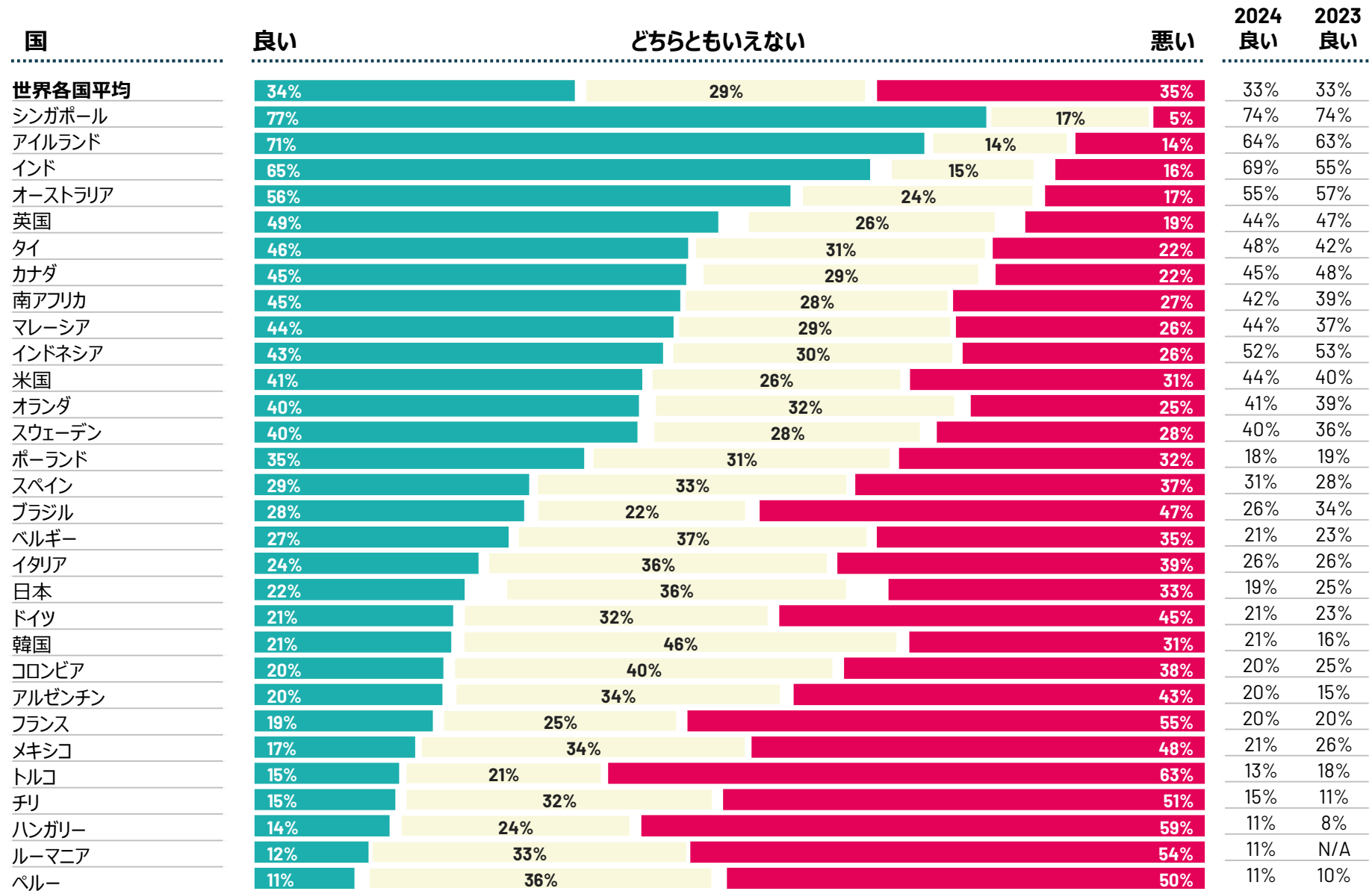


シンガポールとアイルランドは自国の教育制度を良いと評価する割合が最も高く、ペルーとルーマニアは最も低い結果となっています。

自国における教育システムの全体的な質をどう評価しますか？

出典：イプソス教育モニター2025

対象：30か国の75歳未満のオンライン成人23,700人。
2025年6月20日から7月4日に調査を実施。



3つのトピックのうち、あなたの国で最も懸念されるのはどれですか？教育を懸念していると回答した人の割合

世界各国の平均スコア

対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。



世界が懸念していることは？

ランキング上位の懸念事項

世界の懸念事項: 全リスト

対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年8月

上位5つの懸念事項のうち、インフレのみが30か国で30%にわずかに低下して変化が見られました。これにより、調査対象となったすべての国の平均で、犯罪と暴力(32%)が最大の懸念事項であることがさらに明確となりました。

上位5位以外では、ランキングに若干の変化が見られます。中東の緊張により先月急上昇した軍事的な対立(12%が回答)は、現在11位に後退しています。

税金に関する不安はわずかに上昇し、8位から7位となり、5位(19%)が不安を表明しました。

医療は6位で安定しており、自国が直面している問題であると答えた人は24%にわずかに増加しました。

32%

が、犯罪と暴力は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

世界の懸念事項： 全リスト

対象：2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。

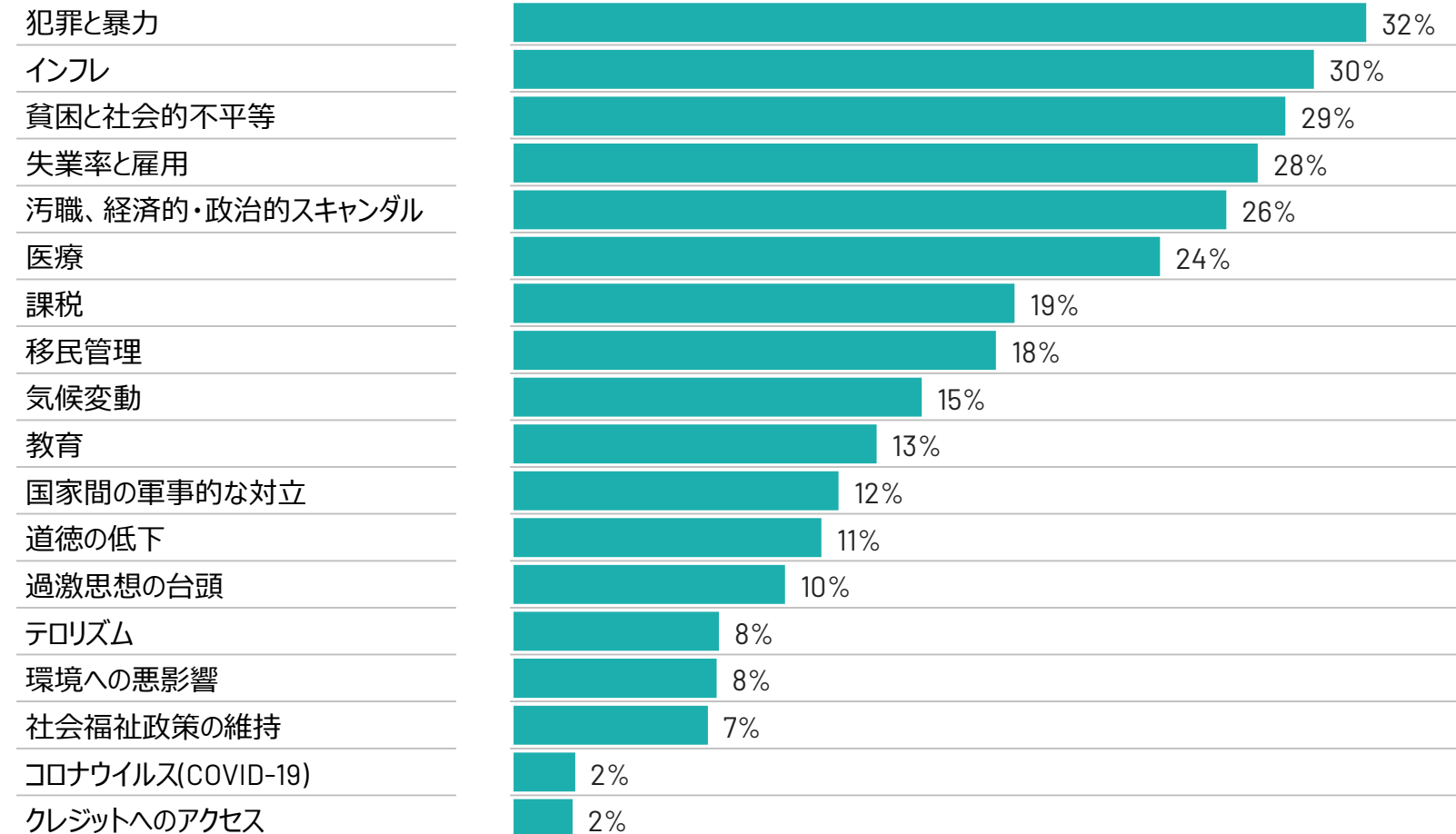
出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター：国：世界 | 現在のウェーブ：2025年8月

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。

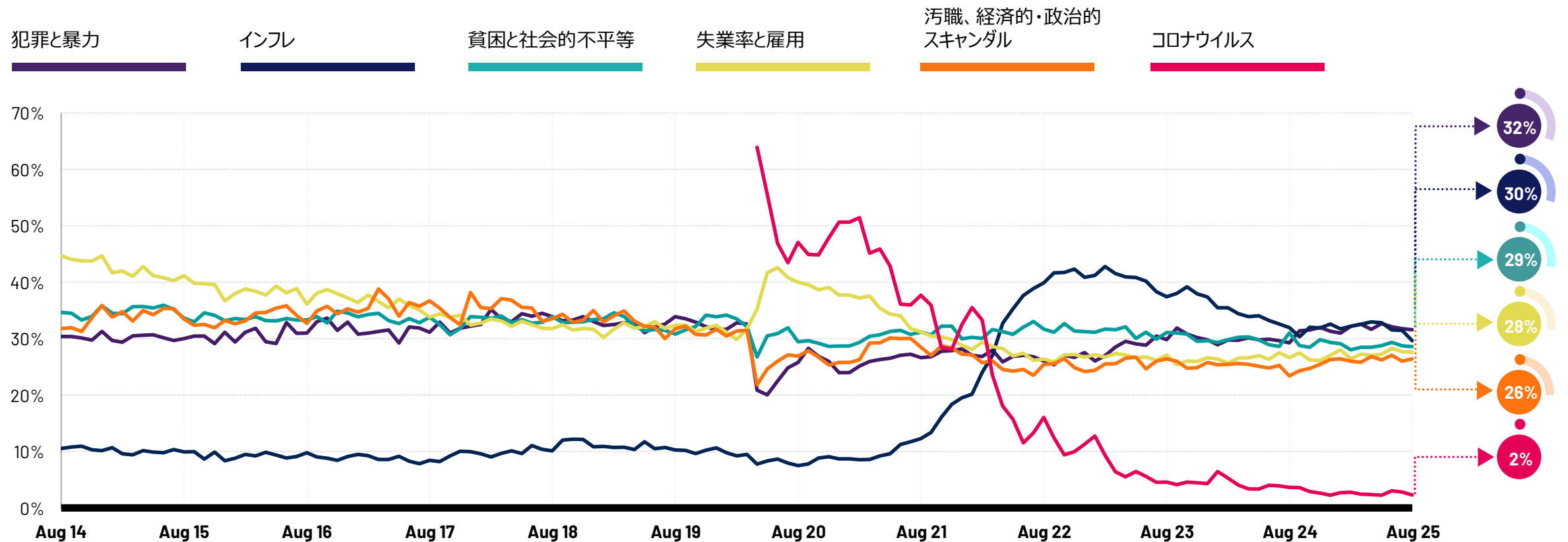
懸念事項

2025年8月の回答割合 (世界各国平均)



世界の懸念：長期的トレンド

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。世界各国平均



対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年8月

1. 犯罪と暴力

30か国全体で、犯罪と暴力を回答する割合は32%のままです。

犯罪を回答するオーストラリア国民の割合は今月、記録的な水準に近づいています。前月からわずかに増加して36%となり、これは2024年8月より8ポイント高く、2018年2月の38%以来の最高値です。

一方、南アフリカのスコアは今月大幅に低下しました。そう答えた人の数は8ポイント減少し、半分強(52%)となっています。しかし、これはこの国では珍しいことではなく、今月のスコアは昨年の8月と同程度です。

イスラエルの不安(30%)も同様に7ポ

イント減少しました。

犯罪と暴力が最大の懸念事項となっている国:

- ペルー(66%)
- コロンビア(42%)
- チリ(64%)
- ブラジル(42%)
- スウェーデン(64%)
- フランス(38%)
- メキシコ(59%)

+18pp

ペルーでは、犯罪が問題であると考える人の割合が過去12か月間で18ポイント増加し、66%となっています。

対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

1. 犯罪と暴力

対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。

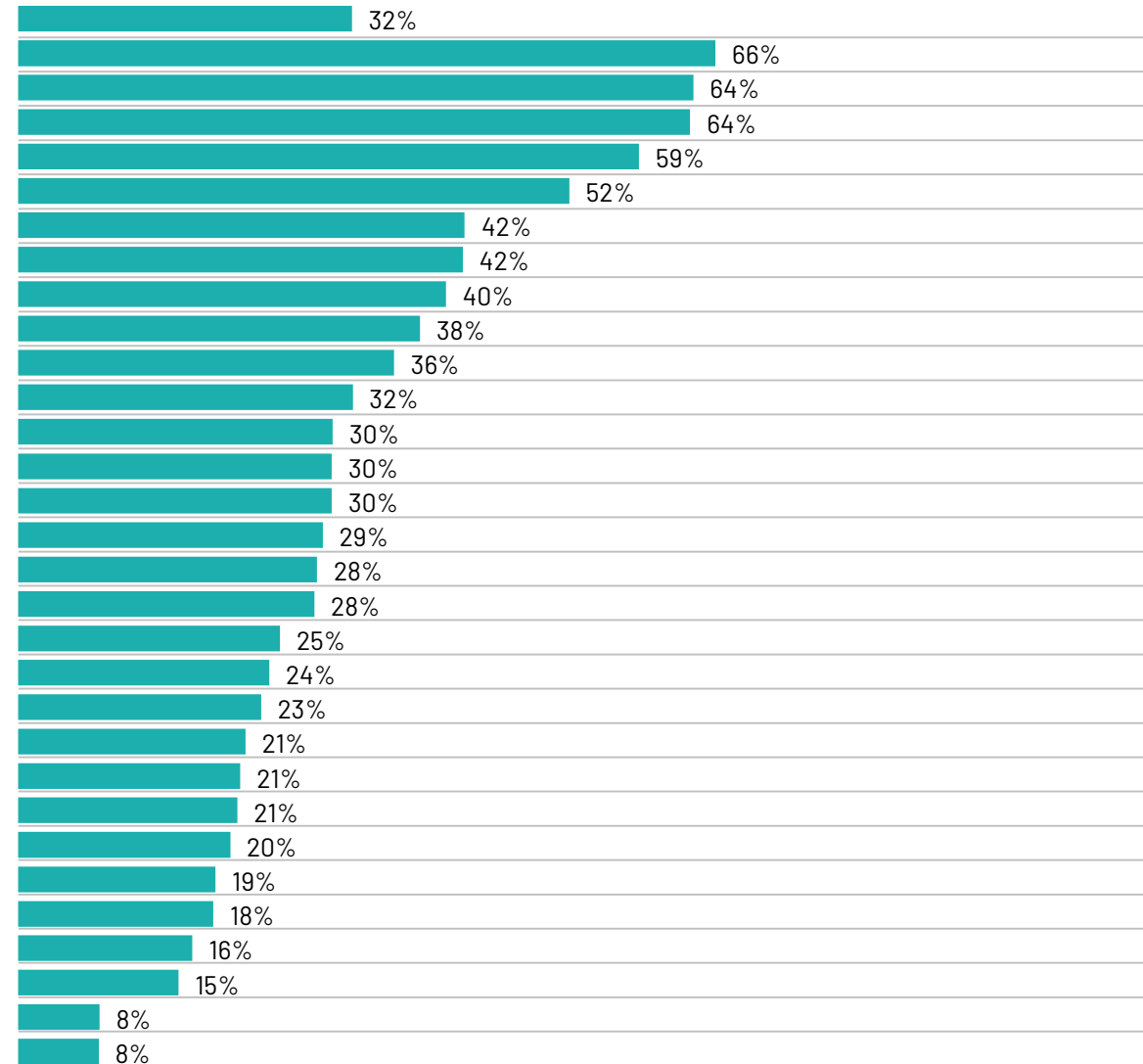
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年8月

国

犯罪と暴力を懸念していると回答した人の割合

世界
ペルー
スウェーデン
チリ
メキシコ
南アフリカ
コロンビア
ブラジル
アルゼンチン
フランス
オーストラリア
アイルランド
トルコ
イスラエル
イタリア
マレーシア
ドイツ
ベルギー
英国
オランダ
米国
韓国
インド
スペイン
カナダ
タイ
日本
インドネシア
ポーランド
ハンガリー
シンガポール



前月からの 変化	12か月間の 変化
=	+3
+2	+18
+4	+6
+2	+3
+1	+12
-8	-1
+1	+3
+1	=
-4	+2
-2	+6
+2	+8
+3	=
+2	+7
-7	+6
+4	+6
+1	-2
-3	-3
-2	+1
=	-4
+2	+5
-5	-6
+5	+4
-2	+1
+3	-2
+1	+4
-5	-5
=	+5
+1	-5
+2	+5
-1	-2
-1	=

2. インフレ

対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

30か国全体では、インフレを回答した割合は前月よりわずかに減少し、10人中3人(30%)となっています。

アジア太平洋諸国では生活費に対する懸念が減少しています。

特に韓国では、懸念を表明する人の割合が11ポイント減少して10人中3人弱(28%)となり、2022年5月の30%以来の最低水準となっています。

同様に、シンガポールでは、不安があると答えた人が7ポイント低下し、56%となっています。

インドとマレーシアでは懸念は7ポイント低下し、それぞれ39%と28%と

なっています。

インフレが最大の懸念事項となっている国:

- シンガポール (56%)
- トルコ (51%)
- カナダ (46%)
- オーストラリア (42%)
- インド (39%)
- 米国 (38%)

30%

が、**インフレ**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

2. インフレ

対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年8月

国

インフレを懸念していると回答した人の割合

世界

30%

シンガポール

56%

トルコ

51%

カナダ

46%

ハンガリー

44%

オーストラリア

42%

インド

39%

米国

38%

アルゼンチン

35%

アイルランド

35%

メキシコ

34%

英国

32%

フランス

31%

ブラジル

29%

ポーランド

29%

ドイツ

29%

韓国

28%

マレーシア

28%

日本

28%

イタリア

25%

ベルギー

24%

スペイン

24%

オランダ

21%

チリ

20%

スウェーデン

20%

タイ

20%

コロンビア

19%

インドネシア

18%

南アフリカ

17%

イスラエル

15%

ペルー

12%

前月からの
変化

12か月間
の変化

-1

-2

-7

-11

=

+1

=

-4

-1

+6

=

-8

-7

+8

+3

-8

+4

-17

+1

+9

+1

+9

+1

+5

+2

-9

-3

+6

-3

-14

+2

-3

-11

-5

-7

-3

-4

+3

-2

+1

=

+3

-3

-2

+3

=

-8

-11

=

-1

-5

-9

+3

-4

-2

-2

-5

-7

-3

-1

-3

+1

3. 貧困と社会的 不平等

対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

30か国全体で、貧困と社会的不平等に言及する割合は29%のままです。

ペルーでは、不平等を懸念する人の数が先月より6ポイント増加し、5分の2弱(38%)となっています。これは2024年8月より13ポイント低い数字です。

タイの不平等に対する懸念度は、2022年8月に調査に追加されて以来最低となり、11ポイント下がって29%となっています。

これはおそらく、[軍事的な対立](#)に対する懸念が大きく高まったことによるものと思われます。

29%

が、**貧困と社会的不平等**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

貧困と社会的不平等が最大の懸念事項となっている国:

なし

3. 貧困と社会的 不平等

対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。

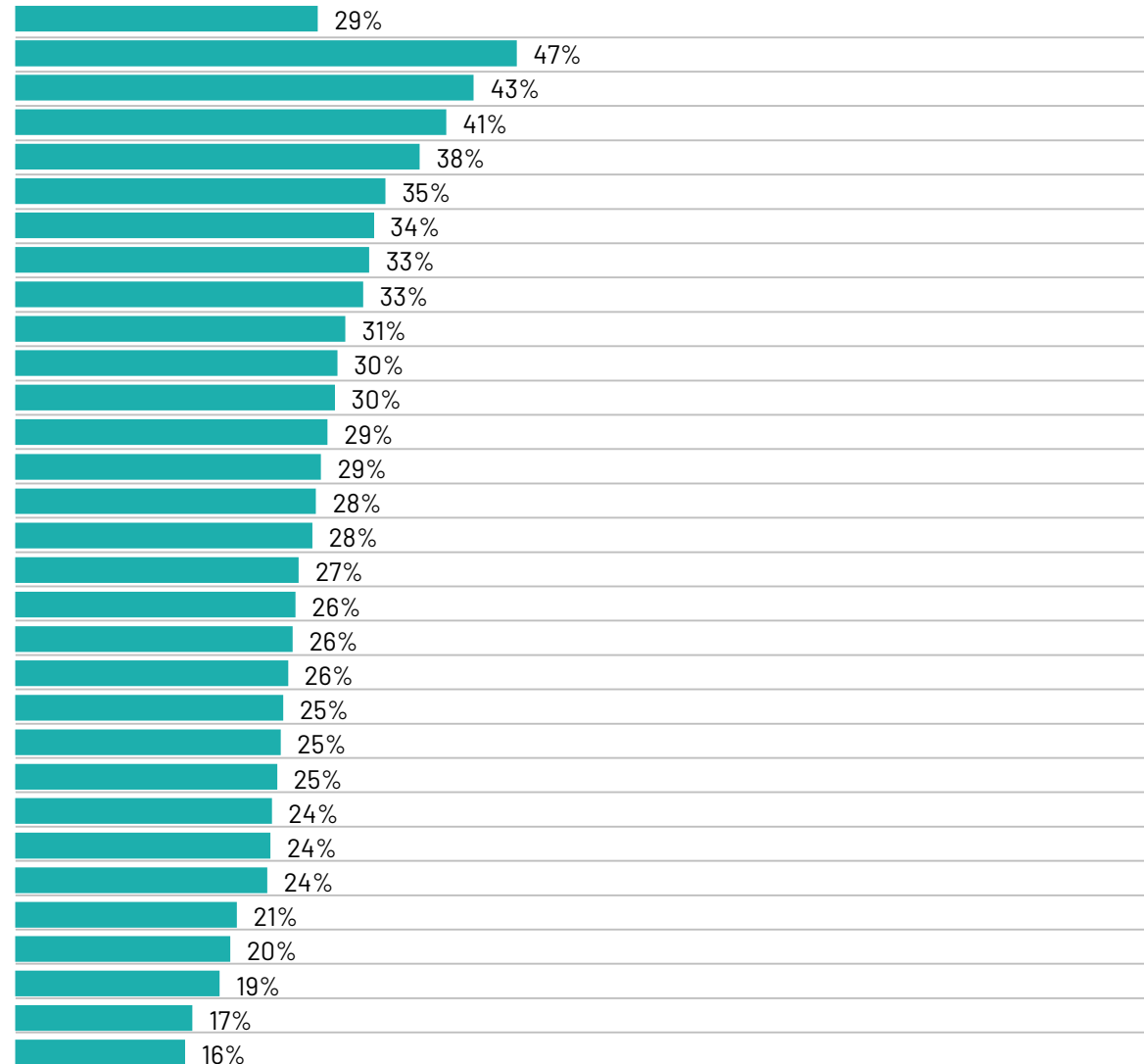
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年8月

国

貧困と社会的不平等を懸念していると回答した人の割合

世界
インドネシア
アルゼンチン
ハンガリー
ペルー
ブラジル
コロンビア
トルコ
南アフリカ
オランダ
日本
メキシコ
タイ
ドイツ
ベルギー
イタリア
アイルランド
チリ
フランス
カナダ
マレーシア
イスラエル
英国
オーストラリア
スペイン
韓国
スウェーデン
シンガポール
インド
米国
ポーランド



前月からの 変化	12か月間 の変化
=	-2
-1	+2
-3	=
+1	+4
+6	-13
-1	-3
-2	-7
-2	+2
+1	-3
+3	-1
-3	-2
+2	+4
-11	-18
-1	-4
-1	+4
=	+1
-3	-4
+1	+4
+1	-3
+3	=
-4	-6
=	+4
+5	-7
-4	-3
+2	-5
-3	-2
-1	-2
+6	-10
+2	=
=	-5
-3	-7

4. 失業率と雇用

対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

今月も30か国全体で失業率と雇用を最大の懸念事項として挙げる人の割合は28%のままです。

今月、カナダの失業に対する懸念は4年ぶりの高水準に達しました。先月よりわずかに増加しましたが、カナダ国民の28%が懸念を表明しました。しかし、これは昨年8月より11ポイント高く、同じく28%だった2021年6月以来の最高値です。

シンガポールでも懸念レベルが高まっており、懸念を表明した人の割合は5ポイント上昇して半数強(52%)となっています。これは昨年の同時期より14ポイント高く、2022年11月に同国が初めて調査に含まれて以

来、最高値となっています。

失業率と雇用が最大の懸念事項となっている国:

- 南アフリカ(65%)
- アルゼンチン(50%)
- 韓国(43%)

28%

が、**失業率と雇用**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

4. 失業率と雇用

対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年8月

国

失業率と雇用を懸念していると回答した人の割合

国	失業率と雇用を懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界	28%	=	+1
南アフリカ	65%	=	=
インドネシア	55%	-3	+10
シンガポール	52%	+5	+14
アルゼンチン	50%	-5	-1
韓国	43%	=	+6
コロンビア	40%	+3	-3
チリ	38%	+2	+6
ペルー	37%	+6	-2
イタリア	34%	+2	+2
メキシコ	34%	-1	-12
インド	31%	-8	-2
スペイン	30%	+2	-4
マレーシア	29%	=	=
カナダ	28%	+2	+11
スウェーデン	24%	+1	+7
トルコ	23%	-6	+2
オーストラリア	22%	=	=
アイルランド	21%	+3	+6
ベルギー	20%	=	+4
タイ	19%	-6	-11
ブラジル	18%	=	-3
ポーランド	16%	-2	-3
日本	16%	+1	=
米国	16%	+4	+2
英国	15%	=	-1
ハンガリー	14%	=	+2
フランス	12%	=	=
イスラエル	12%	=	+1
ドイツ	10%	=	=
オランダ	3%	-4	-5

5. 汚職、経済的・政治的スキャンダル

対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

30か国全体で、汚職に対する懸念を表明する人の割合は依然として約4分の1(26%)にとどまっています。

南アフリカでは汚職に言及する割合が大幅に増加しました。不安は先月から8ポイント上昇し、半数以上(55%)となり、2024年8月より11ポイント上昇しました。また、2023年7月のスコアも55%を記録しており、2年間で最も高い数値となっています。

米国国民もさらに懸念を強めており、今月のスコアは4ポイント上昇して27%となり、昨年同時期より7ポイント上昇しています。しかし、2025年4月は30%を記録し、これは2021年2月(同じく30%)以来の最高水準

となっています。

汚職、経済的・政治的スキャンダルが最大の懸念事項となっている国:

- インドネシア (68%)
- マレーシア (51%)
- スペイン (39%)

26%

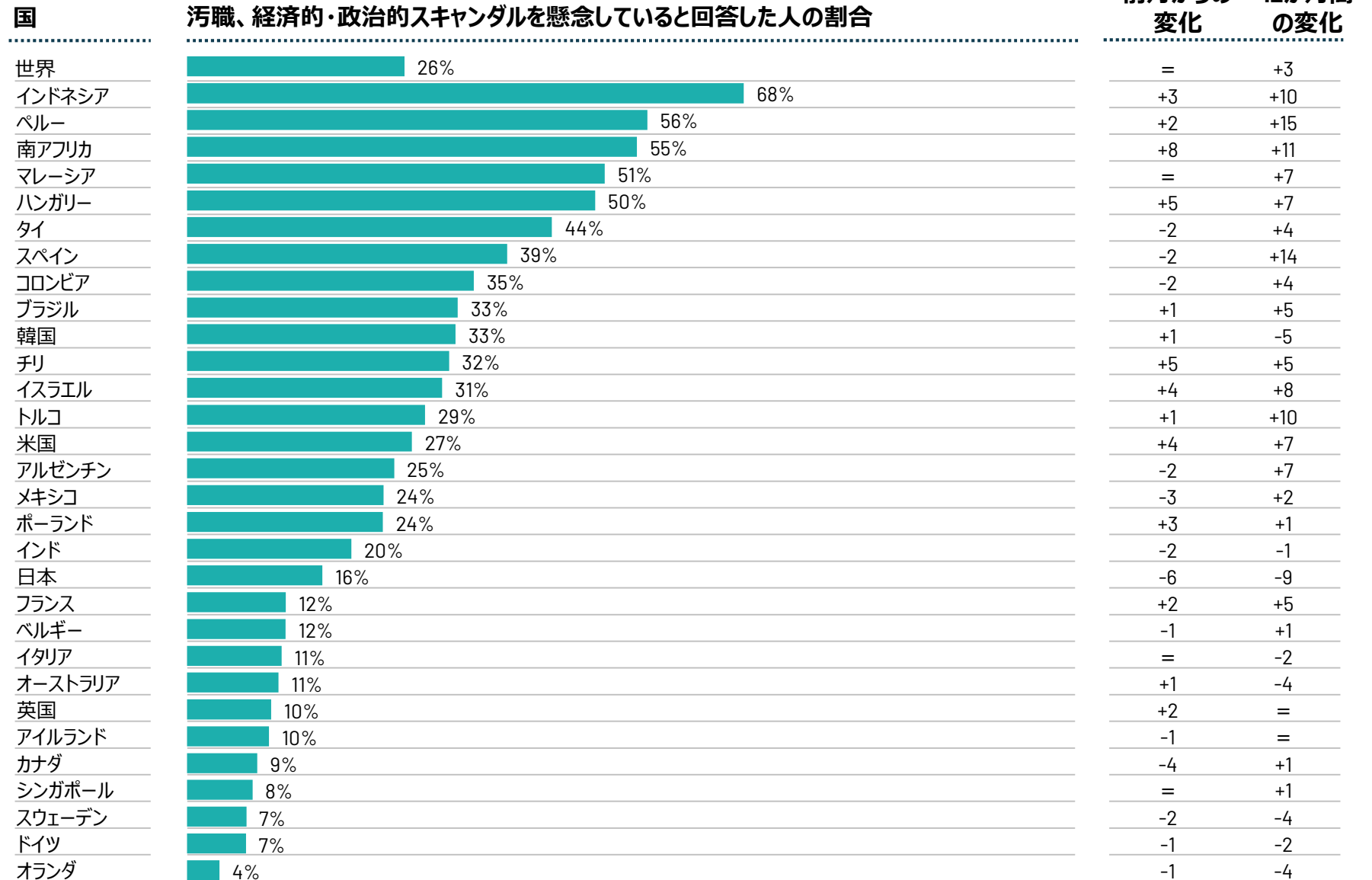
が、**汚職、経済的・政治的スキャンダル**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

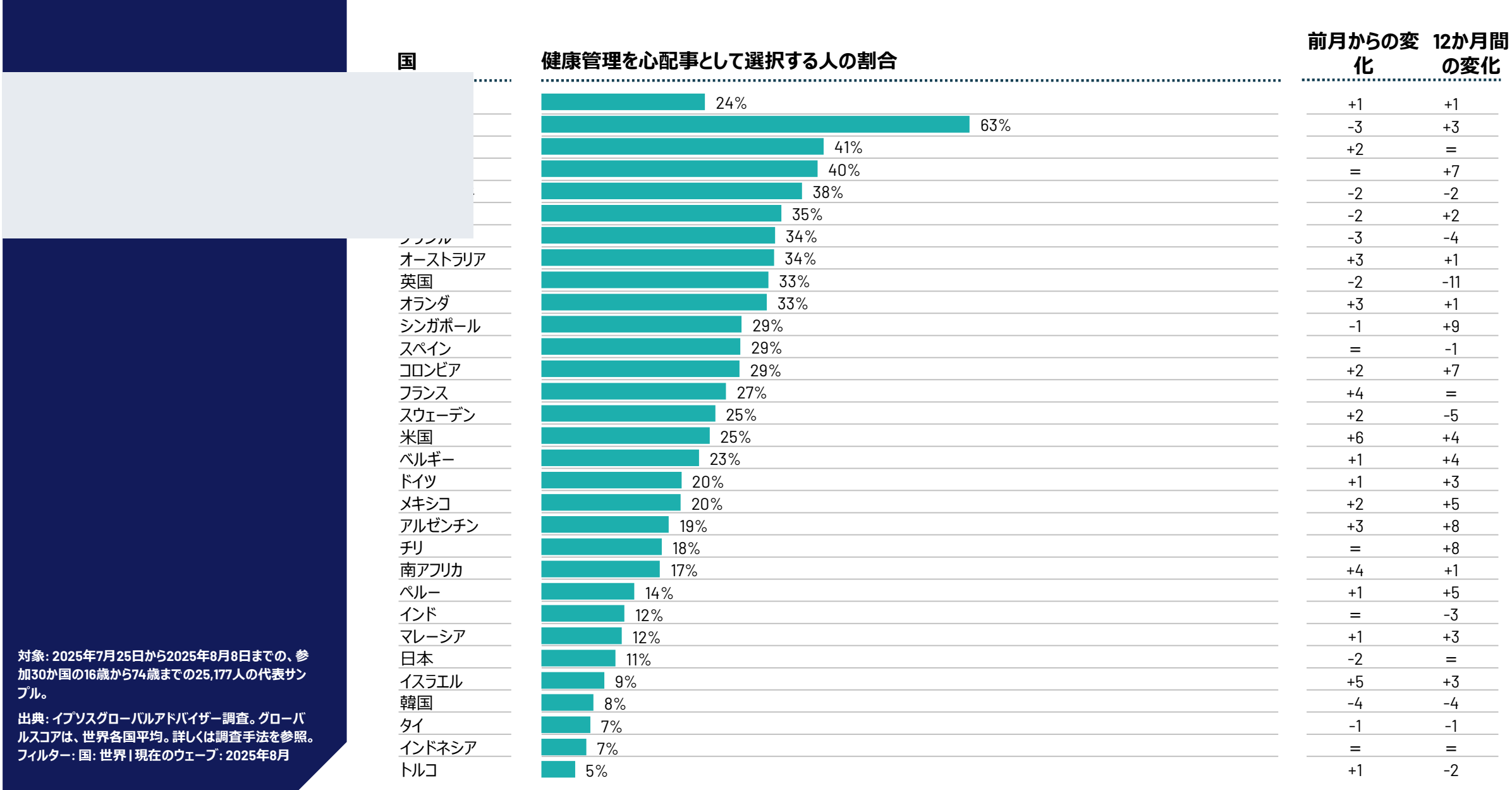
5. 汚職、経済的・政治的スキャンダル

対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年8月





対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年8月



7. 課税

30か国全体で、税金に言及する割合は先月からわずかに増加し、5分の1(19%)となっています。

フランスでは税金に対する懸念が6ポイント上昇し、不安だと答えた人は4分の1(26%)に上っています。2024年11月の同様のピーク(同じく26%)を除けば、これは2020年1月(28%)以来のフランスの税金に対する最も高い懸念レベルです。

日本では、不安を表明する人が3分の1(33%)に達し、これは先月より4ポイント、2024年8月より5ポイント上昇しています。しかし、このスコアは日本としては比較的正常範囲です。

対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

19%

が、**課税**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

課税が最大の懸念事項となっている国:

- 日本(33%)
- ベルギー(32%)

7. 課税

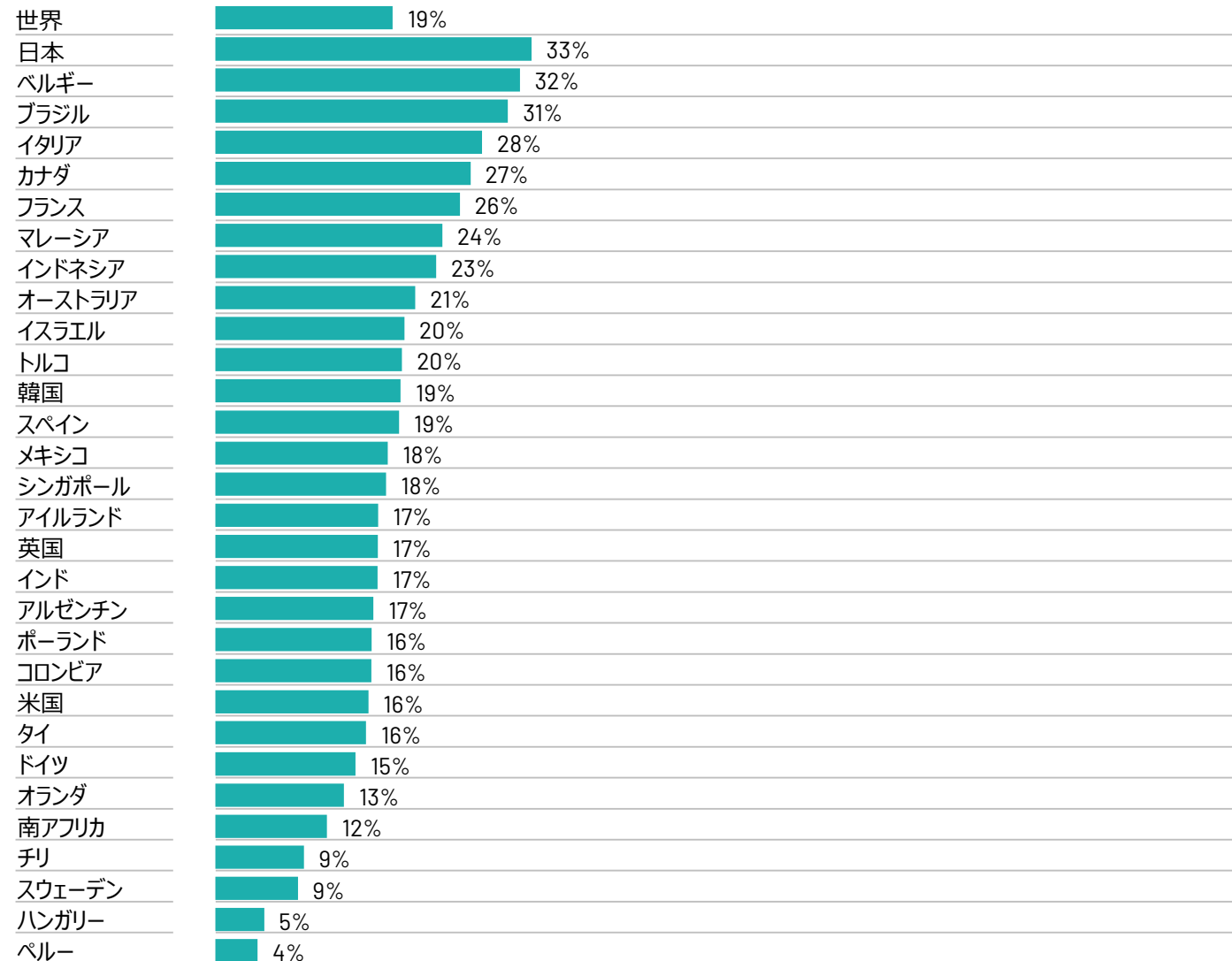
対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年8月

国

課税を懸念していると回答した人の割合



前月からの 変化	12か月間の 変化
+2	+2
+4	+5
=	-1
+3	+7
=	+2
-1	-1
+6	+12
-4	+7
+11	+9
+2	+5
=	=
+2	+4
+5	+4
+1	-3
+5	-6
+2	+2
+4	-1
-2	=
-2	+1
+4	-6
+4	-5
+7	+2
-1	+3
+6	+4
+4	+4
=	-1
+2	+5
-1	-1
-3	+1
-1	=
-1	-2

8. 移民管理

30か国全体で移民に関する懸念は先月からわずかに増加し、5分の1弱(18%)となっています。

現在4か国が移民管理を主要課題に挙げており、オランダが新たにこのグループに加わっています。オランダ国民の36%が懸念を示しており、これは先月より8ポイント上昇し、2024年5月(37%)以来の最高値です。

ヨーロッパの他の地域では、この問題を挙げたポーランド国民の割合は4ポイント上昇して29%となり、これは同国で過去10年間で最高スコアの共同記録となっています(2024年7月も29%を記録)。

対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

18%

が、**移民管理**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

移民管理が最大の懸念事項となっている国:

- アイルランド (40%)
- オランダ(36%)
- ドイツ(39%)
- 英国(39%)

8. 移民管理

対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年8月

国

移民管理を懸念していると回答した人の割合

世界

18%

アイルランド

40%

チリ

39%

英国

39%

ドイツ

39%

オランダ

36%

ポーランド

29%

スペイン

27%

ベルギー

26%

フランス

24%

カナダ

24%

米国

22%

イタリア

20%

トルコ

20%

日本

20%

オーストラリア

19%

スウェーデン

17%

シンガポール

15%

南アフリカ

15%

マレーシア

13%

ペルー

10%

インド

9%

タイ

8%

コロンビア

7%

メキシコ

5%

イスラエル

4%

ハンガリー

4%

アルゼンチン

3%

韓国

2%

インドネシア

1%

ブラジル

1%

前月からの
変化

12か月間
の変化

+1

=

-5

-3

-4

-8

=

+9

+2

+5

+8

+9

+4

+9

+3

+7

+3

+2

-2

+1

-5

-2

-1

-7

=

+4

-1

-21

+3

+7

+3

+3

-1

-1

=

+2

+3

=

+4

+1

-1

=

+4

=

+3

+4

+1

-4

-1

-1

-1

-1

+1

-4

+1

+1

=

=

=

=

=

=

9. 気候変動

対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

30か国全体で気候変動を懸念する人がわずかに15%に増加しました。

日本と韓国は今月、記録的な猛暑に見舞われており、調査結果にも反映されています。

気候変動が自国にとっての課題であると回答した韓国国民の割合は10ポイント上昇し、10人中3人(29%)となっています。これは昨年8月より9ポイント上昇しただけでなく、過去10年以上で最高値となっています。

しかし、日本は記録的なレベルには達していないものの、気候変動を回答する割合が31%と依然として高い

水準にあります。

気候変動が最大の懸念事項となっている国:
なし

15%

が、**気候変動**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

9. 気候変動

対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。

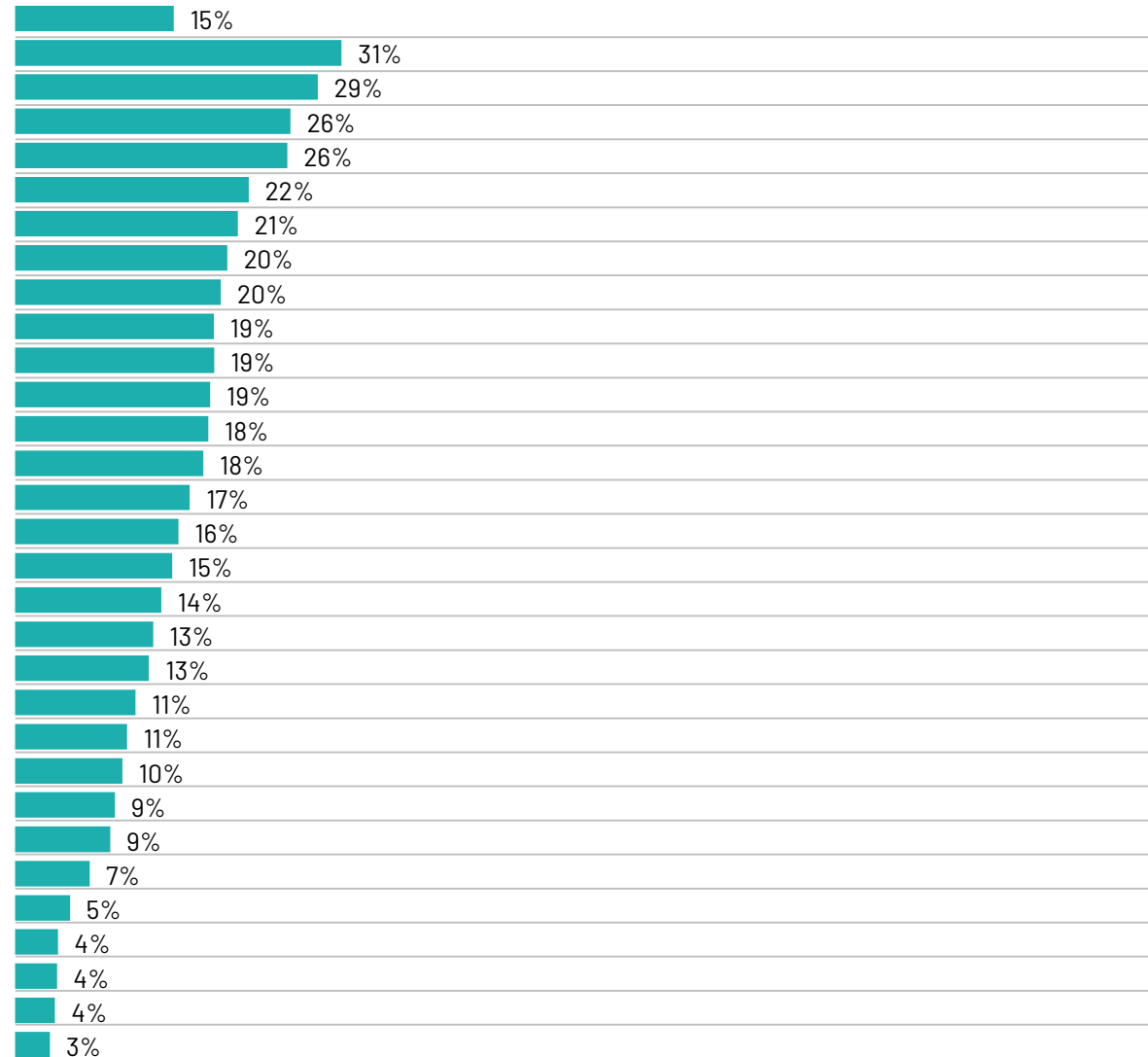
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年8月

国

気候変動を懸念していると回答した人の割合

世界
日本
韓国
シンガポール
オランダ
オーストラリア
ドイツ
イタリア
英国
米国
フランス
カナダ
ベルギー
アイルランド
スウェーデン
スペイン
ポーランド
タイ
メキシコ
トルコ
マレーシア
ブラジル
インド
インドネシア
ハンガリー
コロンビア
チリ
南アフリカ
ペルー
アルゼンチン
イスラエル



前月からの
変化

12か月間の
変化

=	-2
+1	-2
+10	+9
-2	+2
+2	-3
+1	+1
+1	=
-2	-3
+2	=
+9	-3
-4	-4
+2	-6
+2	=
+3	+5
=	-2
+1	-3
-1	-3
-3	-5
-2	-3
+5	+5
-1	-1
+1	-3
+1	-4
-1	-8
-1	=
-2	-4
-1	-2
-2	-7
-3	-3
+1	+1
=	+1

10. 教育

30か国全体で、教育に対する懸念を表明する人の割合はわずかに減少し、13%となっています。

アルゼンチン国民の10人中3人(30%)は、教育は自国が直面している主要な課題の一つであると答えており、5位にランクされています。このレベルの懸念はアルゼンチンでは比較的正常であり、2025年3月には懸念が3分の1(34%)に達し、最高点を記録しました。

インドも教育を比較的多く回答している国の一つです。懸念のレベルは先月より4ポイント低下したにもかかわらず、現在は12か月前より5ポイント上昇しています(現在23%が懸念

を表明)。

[教育に関する詳細については、最新のイプソス教育モニターをご覧ください。](#)

教育が最大の懸念事項となっている国:

なし

13%

が、**教育**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

10. 教育

対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。

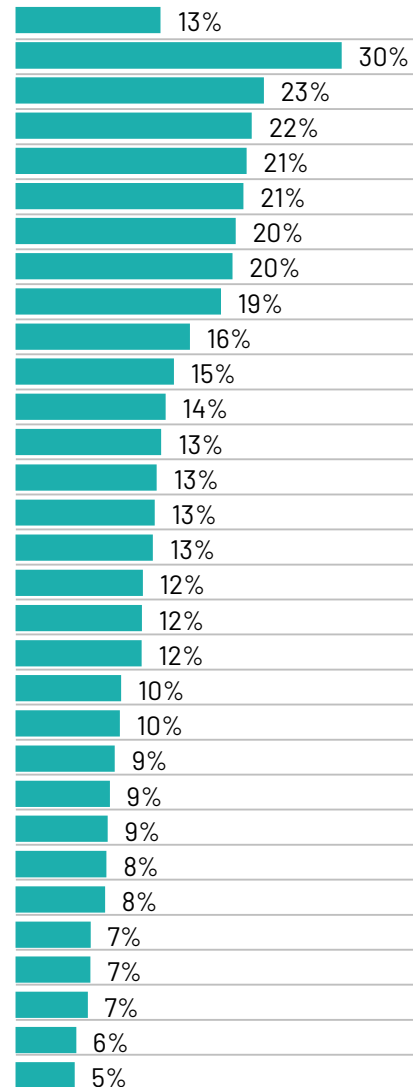
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年8月

国

教育を懸念していると回答した人の割合

世界
アルゼンチン
インド
イスラエル
ペルー
ハンガリー
メキシコ
トルコ
ブラジル
チリ
コロンビア
スペイン
ベルギー
マレーシア
インドネシア
南アフリカ
フランス
オランダ
カナダ
オーストラリア
米国
ドイツ
ポーランド
スウェーデン
タイ
イタリア
英国
日本
シンガポール
韓国
アイルランド



前月からの 変化	12か月間の 変化
-1	-1
-1	=
-4	+5
=	+4
+1	-5
-3	-6
+1	+5
-1	-2
-3	-8
=	+2
-2	=
+1	=
-2	-4
+2	-1
=	-3
-1	+2
-3	+1
-2	+2
+3	+2
+1	+1
+2	+2
-1	-1
=	+2
+3	=
+2	-1
+2	-1
+2	=
+2	+1
-3	-9
+1	+1
=	-3

11. 国家間の軍事的な対立

30か国にわたる軍事的な対立に対する懸念は先月から3ポイント低下しました。これは、米国によるイラン爆撃により7月に急増した後、通常の状態に戻った可能性が高いと考えられます。

7月24日、タイとカンボジアの間の緊張が武力戦闘にまで発展しました。その結果、不安を表明したタイ国民の割合は13ポイント上昇して半分(50%)となり、これは2022年8月に調査対象者に追加されて以来、タイで最高となっています。

対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

12%

が、**国家間の軍事的な対立**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

国家間の軍事的な対立が最大の懸念事項となっている国:

- タイ(50%)

11. 国家間の軍事的な対立

対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年8月

国

国家間の軍事的な対立を懸念していると回答した人の割合

世界

12%

タイ

50%

ポーランド

32%

イスラエル

30%

ドイツ

25%

オランダ

20%

スウェーデン

17%

フランス

16%

ベルギー

16%

イタリア

14%

米国

14%

英国

14%

オーストラリア

11%

韓国

10%

インド

10%

日本

10%

シンガポール

9%

スペイン

9%

アイルランド

7%

カナダ

7%

ハンガリー

7%

ブラジル

5%

メキシコ

5%

インドネシア

5%

マレーシア

4%

コロンビア

3%

トルコ

3%

ペルー

2%

南アフリカ

2%

アルゼンチン

2%

チリ

1%

前月からの
変化 12か月間
の変化

-3

+2

+13

+43

-4

+1

-3

-20

-4

+3

-6

+3

-4

+7

-2

+9

=

+5

-5

=

-13

+1

-11

+3

-6

+4

-5

-2

+3

+1

-5

-3

-3

+3

-8

+1

-4

+2

-2

+2

+1

+1

=

+3

-4

+3

-6

=

-2

=

-2

-2

-1

=

-3

-2

=

+1

-3

-1

-4

-2

		国	道徳の低下を懸念すると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
			11%	+1	+1
			22%	+3	+8
			20%	+6	+6
			19%	+2	=
			19%	+1	+4
			18%	+8	+5
			18%	+5	+3
		日本	16%	=	-3
		英国	14%	+1	+4
		フランス	14%	+2	+2
		ポーランド	14%	+2	+5
		トルコ	12%	+1	+5
		シンガポール	12%	+4	+3
		ハンガリー	10%	+2	-2
		ドイツ	10%	-1	-1
		ベルギー	10%	+1	-1
		オーストラリア	10%	=	-1
		カナダ	10%	+2	+1
		イタリア	10%	+1	=
		アルゼンチン	9%	=	+4
		インドネシア	8%	=	-4
		アイルランド	8%	=	+1
		チリ	8%	+5	+4
		インド	8%	+3	-1
		スウェーデン	8%	-1	-3
		スペイン	7%	-1	+2
		ペルー	6%	-2	-2
		コロンビア	6%	=	+1
		メキシコ	5%	=	=
		ブラジル	5%	+1	+2
		南アフリカ	5%	+2	=

対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年8月

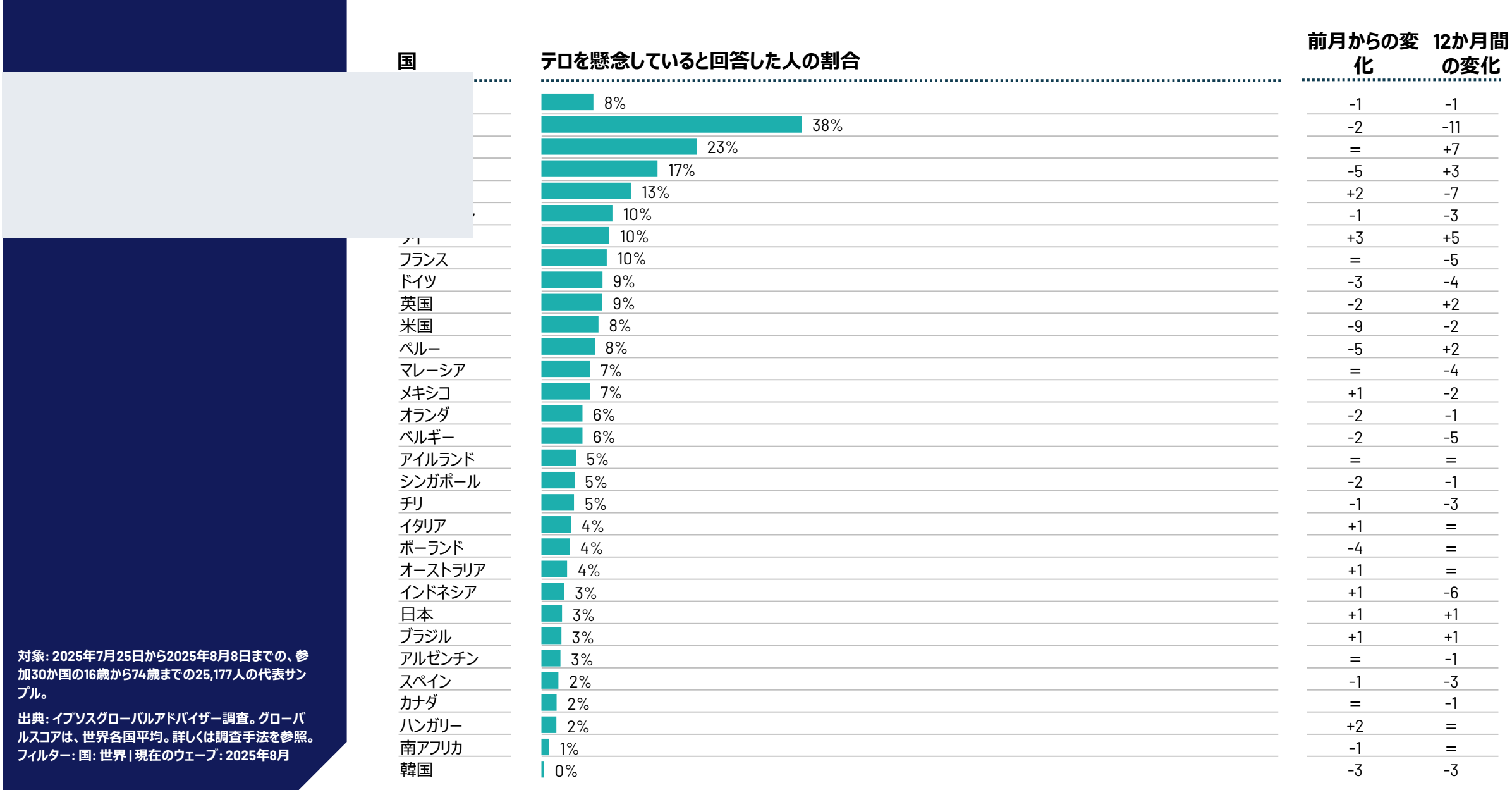


		国	過激主義の台頭を懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
			10%	=	+1
			26%	+3	=
			19%	+6	+11
			19%	-4	-5
			18%	+1	=
			18%	-4	+2
			16%	+2	+5
		ベネチア	16%	+2	+1
		アイルランド	15%	+1	+2
		スウェーデン	15%	-1	-1
		フランス	14%	-2	-4
		ベルギー	12%	-2	+3
		韓国	12%	+2	+1
		英国	9%	=	-3
		マレーシア	9%	+2	+1
		カナダ	9%	=	=
		オーストラリア	9%	+5	+4
		日本	8%	+2	+1
		ブラジル	8%	+2	-3
		インド	6%	-1	-1
		イタリア	6%	=	+2
		シンガポール	5%	-2	+4
		コロンビア	5%	-1	+1
		トルコ	5%	=	-3
		チリ	5%	=	+3
		ハンガリー	4%	=	+2
		ペルー	4%	+2	+2
		アルゼンチン	3%	=	+2
		メキシコ	3%	-1	-1
		タイ	1%	-1	-1
		インドネシア	1%	-1	-1
		南アフリカ	1%		

対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。
フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年8月





	国	環境に対する脅威を懸念していると回答した人の割合	前月からの変化		12か月間の変化
		8%	+1	-1	
		13%	+3	+1	
		12%	+4	=	
		12%	-1	=	
		12%	+1	-3	
		11%	+1	-2	
		10%	+1	-2	
		10%	+1	-1	
		10%	+1	+1	
		9%	+3	-1	
	英国	9%	+2	+1	
	タイ	9%	=	-1	
	日本	8%	=	-1	
	インドネシア	8%	-2	=	
	オーストラリア	8%	-1	-1	
	ポーランド	7%	-1	-1	
	イタリア	7%	+1	-4	
	メキシコ	7%	-1	-14	
	マレーシア	7%	=	-1	
	トルコ	6%	+2	+2	
	スペイン	6%	-1	-1	
	ペルー	6%	=	-5	
	コロンビア	5%	-5	-4	
	米国	5%	-1	-1	
	アイルランド	5%	+2	=	
	カナダ	5%	-1	-2	
	イスラエル	5%	-2	-1	
	チリ	3%	=	-3	
	南アフリカ	3%	+2	+1	
	アルゼンチン	3%	+2	=	
	ハンガリー	3%	-1	-1	

対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。

出典: イブソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

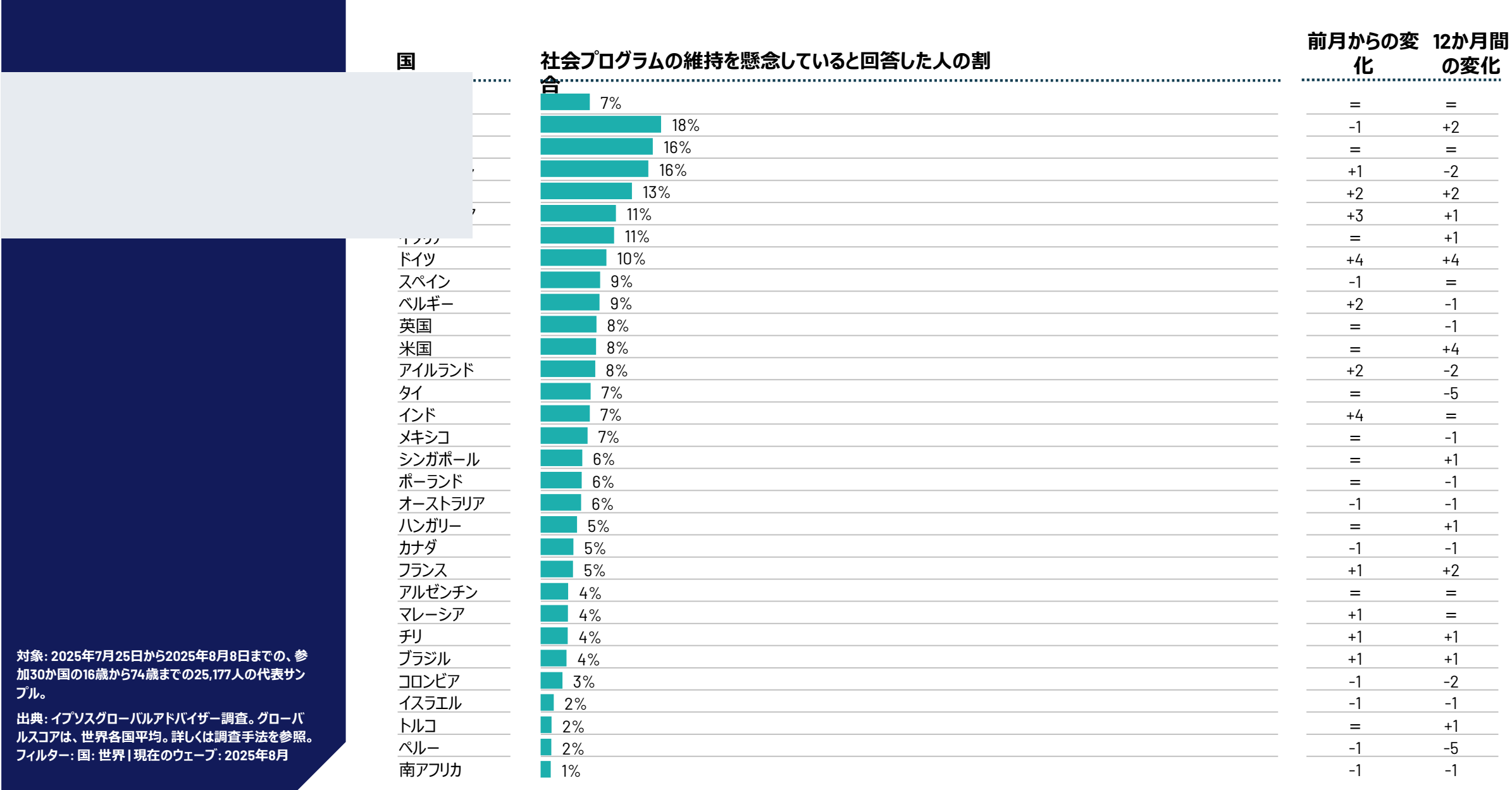
フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年8月

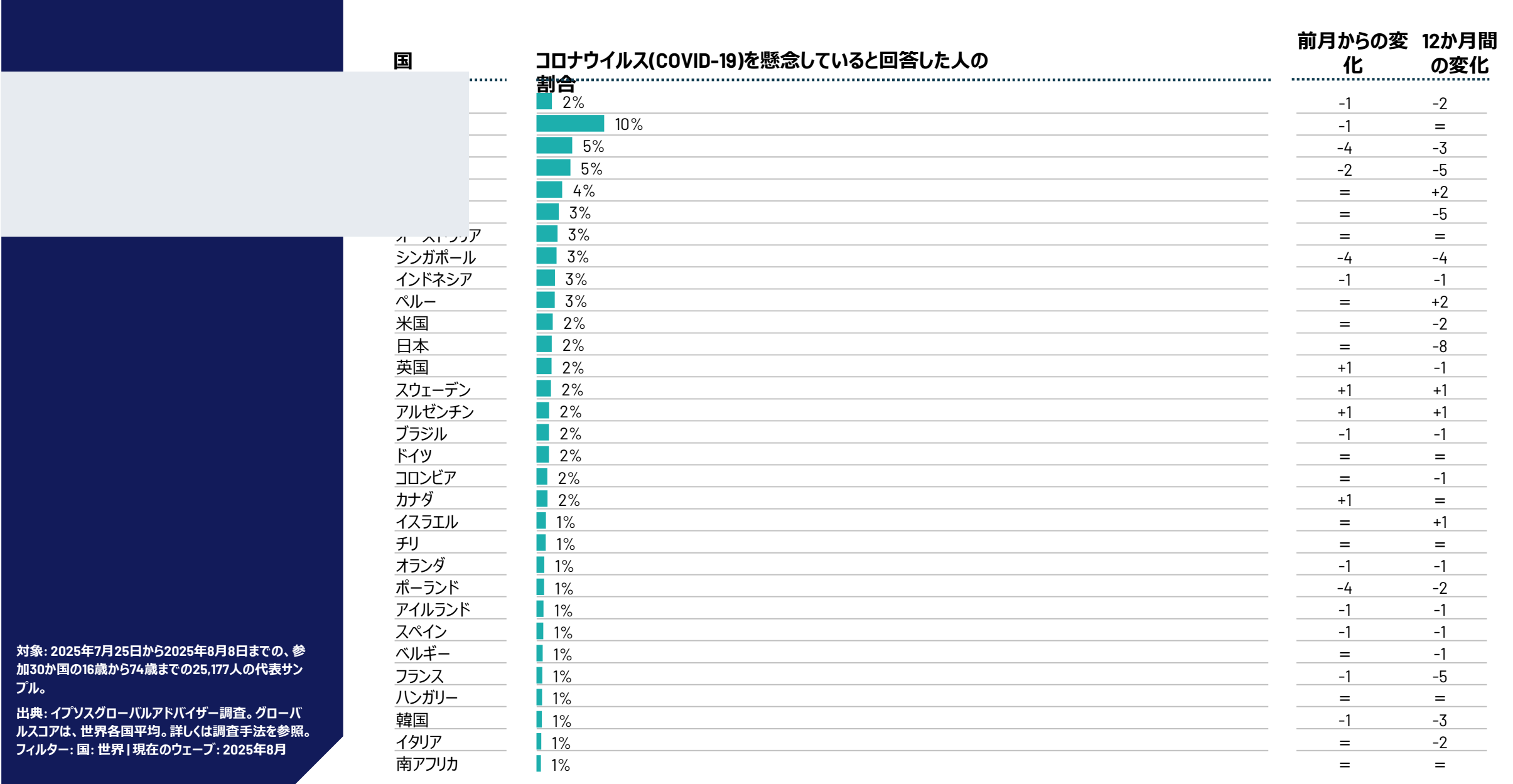
対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年8月







	国	% が信用へのアクセスを不安として選択	先月からの変化	12か月間の変化
対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。 出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。 フィルター: 国: 世界 現在のウェーブ: 2025年8月		2%	=	-1
		9%	+3	=
		4%	+1	+1
		4%	+1	+1
		3%	+1	-2
		3%	+1	-3
	ハンガリー	3%	+2	-1
	スウェーデン	3%	+1	+2
	米国	3%	+1	=
	ペルー	3%	+1	-1
	ベルギー	3%	=	-1
	コロンビア	2%	=	=
	マレーシア	2%	=	-2
	シンガポール	2%	+1	-1
	英国	2%	+1	+1
	韓国	2%	-1	-1
	チリ	2%	-1	-1
	イタリア	2%	=	-1
	日本	2%	=	=
	ブラジル	2%	=	-1
	オーストラリア	1%	-1	-2
	カナダ	1%	-1	-3
	スペイン	1%	-1	-1
	アイルランド	1%	-1	-2
	南アフリカ	1%	-1	=
	イスラエル	1%	-1	=
	メキシコ	1%	-1	=
	ドイツ	1%	=	-1
	フランス	1%	=	-1
	インドネシア	1%	=	=
	オランダ	1%	-2	-2

経済フォーカス

自国の経済状況

イプソスの**世界が懸念していること調査**と並び、毎月実施されている**世界消費者信頼感調査**は、30か国の一般消費者を対象に、国と個人のレベルにおける経済と金融について調査を実施しています。

以下のセクションでは、このデータの一部を用いて、今月の「世界が懸念していること調査」レポートの背景を説明しています。これは、国民が自国の現在の経済情勢をどのように評価しているかを示すものです。

詳細については、
Emilios.Louca@ipsos.com
までお問い合わせください。

現在の経済状況

調査対象となった30か国のうち、マレーシアは12か月間で経済の好調さのスコアが最も大きく上昇し、13ポイント上昇して71%となっています。

また、近年の状況に照らし合わせると、アルゼンチンの好景気スコアは過去14か月のうち12か月で20%以上と好調です。これは、5年11か月間連続して20%を下回った期間に続くものです。

ドイツも明るい兆候を示しており、2月の連邦選挙以降、経済スコアは毎月上昇しています(選挙当時は25%)。

一方、フランスの好景気スコアは、調査対象国の中で12か月間の下落幅が最も大きく、18ポイント下落

しました。今月のスコア9%は、フランスでは10年以上ぶりの最低スコア(2015年1月は7%)です。

経済を最も懸念している上位国:

- フランス(9%が「良い」状態だと回答)
- 日本(12%)
- ハンガリー(19%)
- トルコ(22%)
- 韓国(23%)

9%

のフランス国民が、同国の現在の経済状況は良好であると述べています。

対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。

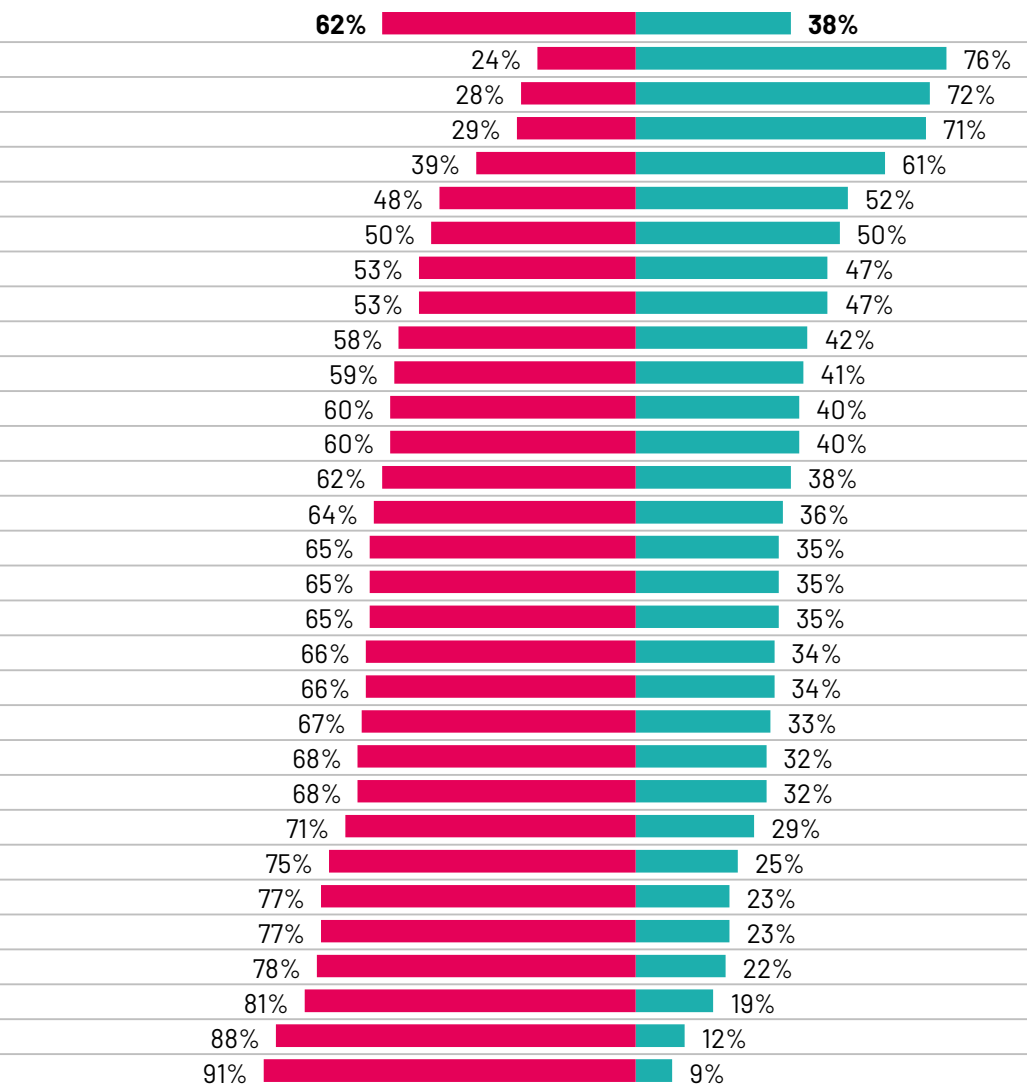
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

現在の経済状況

対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。
フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年8月

国
世界
シンガポール
インド
マレーシア
オランダ
アイルランド
オーストラリア
スウェーデン
ポーランド
米国
インドネシア
スペイン
メキシコ
イスラエル
カナダ
タイ
チリ
ベルギー
英国
ドイツ
ブラジル
コロンビア
イタリア
アルゼンチン
南アフリカ
ペルー
韓国
トルコ
ハンガリー
日本
フランス

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



良い 悪い

前月からの 変化	12か月間の 変化
=	=
-1	+9
-5	-9
+9	+13
-3	-3
=	+1
+1	+5
+4	+3
-9	+6
-2	+3
-6	-15
+3	-3
-3	-7
-1	+8
+1	=
+3	-4
+4	+5
+2	-9
+5	+3
+3	-6
+4	-2
=	+4
+4	-1
-2	+9
-1	-9
-1	+8
+8	+7
-2	=
-1	-5
+1	+1
-5	-18

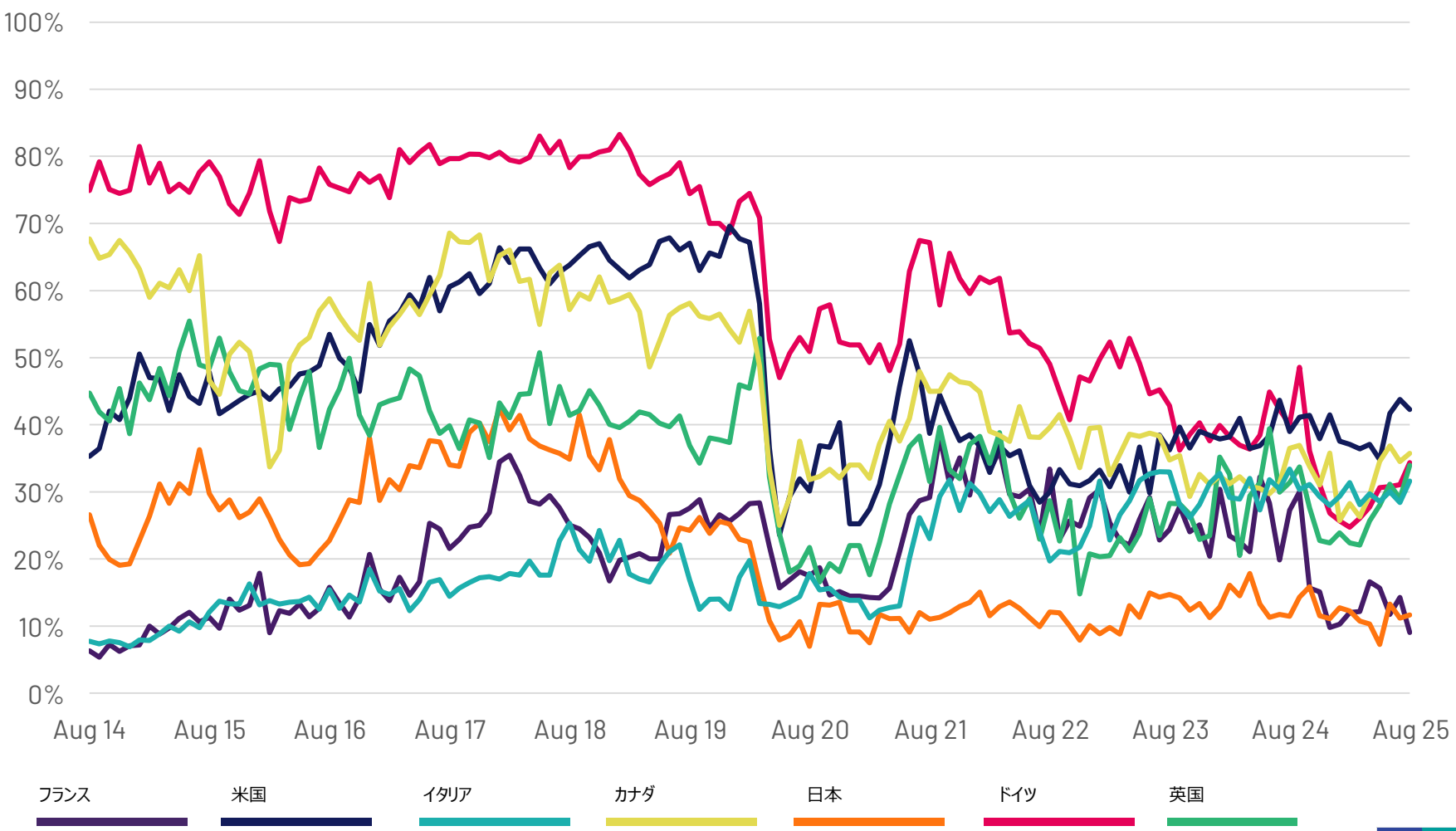


現在の経済状況

G7
%「とても良い」または「やや良い」

対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。
フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年8月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

アルゼンチン

%「とても良い」または「やや良い」

アルゼンチンの好景気スコアは、過去14か月のうち12か月で20%以上となっています。これは、5年11か月間連続して20%を下回った期間に続くものです。

対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年8月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

カナダ

%「とても良い」または「やや良い」

カナダの好景気スコアは、2023年1月(40%)以来40%を下回っています。

対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年8月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

チリ

%「とても良い」または「やや良い」

チリの良い経済スコアは、2022年7月(14%)以降、着実に上昇しています。

対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年8月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

フランス %「とても良い」または「やや良い」

フランスの好景気スコアは、調査対象国の中で前年比最大の下落幅となり、18ポイント低下しました。今月のスコア9%は、フランスでは10年以上ぶりの最低スコア(2015年1月は7%)となっています。

対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。
フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年8月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

ドイツ

%「とても良い」または「やや良い」

ドイツの好景気スコアは、2月の2025年連邦選挙以来、毎月上昇しています(25%)。

対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年8月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

英国

%「とても良い」または「やや良い」

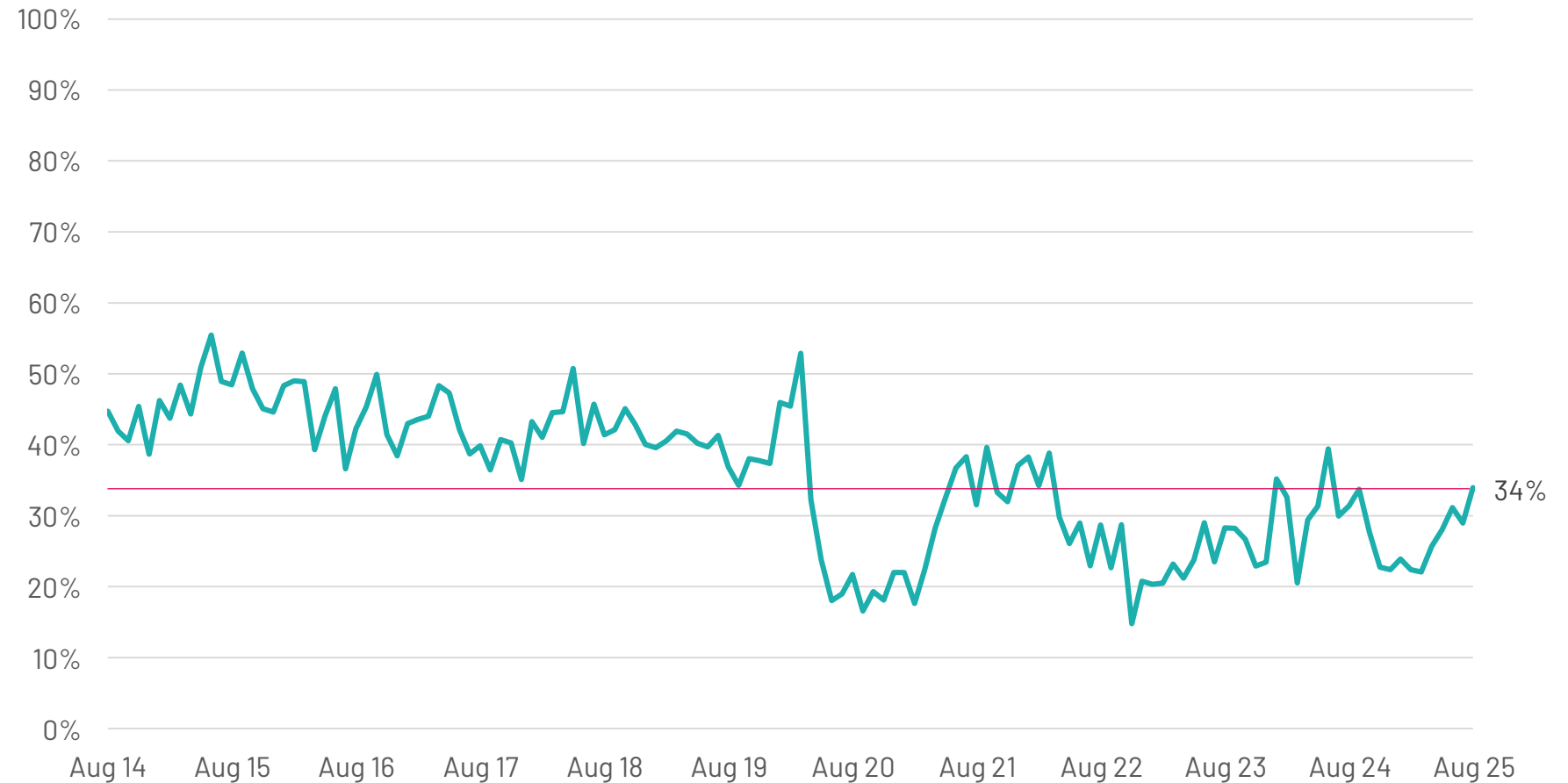
過去12か月間で、英国の好景気スコアが30%を超えたのはわずか3回でした。パンデミック前は一貫して30%を超えていました。

対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年8月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

イタリア

%「とても良い」または「やや良い」

イタリアは、当社の調査で最も安定した国であり、過去12か月間の好景気スコアの変動はわずか4ポイント(最高32%、最低28%)でした。

対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年8月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

日本

%「とても良い」または「やや良い」

日本の好景気スコアは2020年2月(22%)以来20%を超えていません。

対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年8月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

マレーシア

%「とても良い」または「やや良い」

マレーシアの好景気スコアは、過去1年間で当社の調査対象国の中で最も上昇し、13ポイント上昇して71%となっています。

対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年8月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

韓国

%「とても良い」または「やや良い」

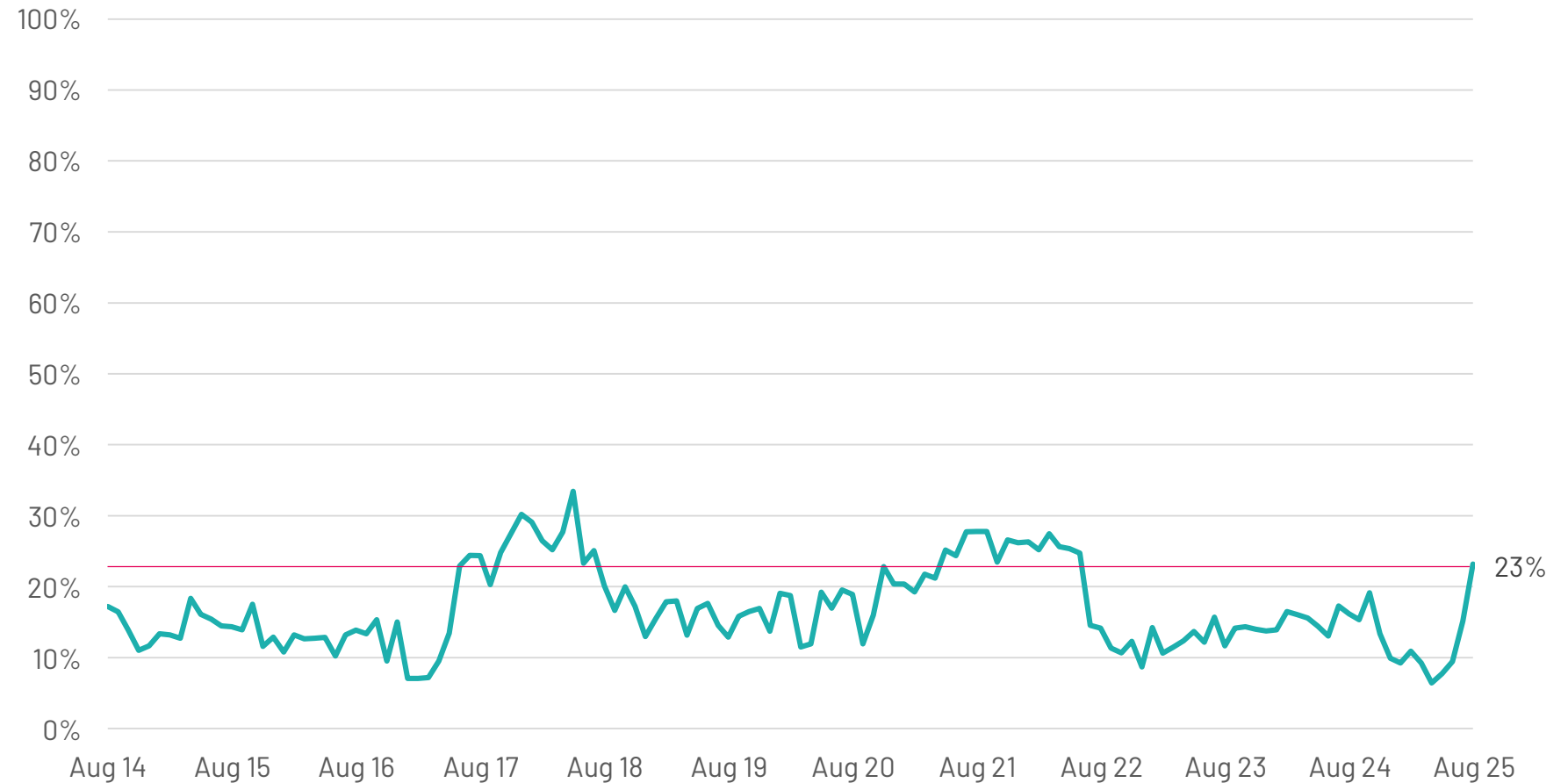
韓国は前月から8ポイント上昇し、
2022年6月以来最高の好景気スコア
(25%)を記録しました。

対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年8月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

スウェーデン

%「とても良い」または「やや良い」

過去のスコアと比較するとまだ低いものの、スウェーデンの今月の好景気スコアは過去2年間で最高(2022年9月時点の47%)となっています。

対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年8月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

米国

%「とても良い」または「やや良い」

パンデミック前の水準を大きく下回っているものの、米国の好景気スコアは近年と比べると高い水準です。

対象: 2025年7月25日から2025年8月8日までの、参加30か国の16歳から74歳までの25,177人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年8月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



調査手法

この30か国グローバルアドバイザー調査は、イプソスオンラインパネルシステムを通じて、2025年7月25日から2025年8月8日の間に、カナダ、イスラエル、マレーシア、南アフリカ、トルコ、米国の18〜74歳、インドネシアとタイの20〜74歳、シンガポールの21〜74歳、その他の国の16〜74歳までの25,177人を対象に実施されました。

「世界各国平均」は、調査が実施されたすべての国における平均的な結果を反映しています。これは各国の人口規模に合わせて調整されておらず、全体的な結果を示すことを意図したものではありません。

サンプルは、オーストラリア、ベルギー、ブラジル、カナダ、フランス、ドイツ、英国、イタリア、アイルランド、日本、スペイン、スウェーデン、米国の各国で約1,000人以上、アルゼンチン、チリ、コロンビア、ハンガリー、インドネシア、イスラエル、マレーシア、メキシコ、オランダ、ペルー、ポーランド、シンガポール、南アフリカ、韓国、タイ、トルコの各国で約500人以上で構成されています。

インドのサンプルは約2,200人で構成され、そのうち約1,800人が対面で調査を受け、400人がオンラインで調査を受けました。

アルゼンチン、オーストラリア、ベルギー、カナダ、フランス、ドイツ、英国、ハンガリー、イタリア、日本、オランダ、ポーランド、韓国、スペイン、スウェーデン、米国のサンプルは、これらの国の75歳未満の一般成人人口の代表として考えることができます。

ブラジル、チリ、コロンビア、インド、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ペルー、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口よりも都市部に住み、教育水準が高く、裕福です。これらの市場の調査結果は、これらの人口の中でもデジタル接続性の高い「コネクテッド」な層の意見を反映しているものと捉えられます。

インドのサンプルは、都市部の人口の大部分、つまり大都市圏の社会経済階級A、B、C、および全4ゾーンのTier 1-3の都市階級を表しています。

人口統計のバランスを取り、サンプルの構成が最新の国勢調査データに基づく成人人口の構成を反映するようにするために、重み付けが採用されています。

イプソスのオンライン世論調査の精度は、信頼区間を使用して計算され、1,000件の世論調査では ± 3.5 パーセントポイントの精度、500件の世論調査では ± 5.0 パーセントポイントの精度となります。イプソスによる信頼区間の使用に関する詳細については、イプソスのウェブサイトをご覧ください。

結果の合計が100にならない場合、または「差」が実際より ± 1 多い/少ないように見える場合は、四捨五入、複数回答、または「わからない」または未回答の回答の除外が原因である可能性があります。

この調査結果の公表は現地の規則および規制に従って行われます。



THANK YOU

CONTACT:

Joseph.Nadler@ipsos.com

VISIT:

ipsos.com